

令和8年度
(令和7年度対象)

教育委員会の点検・評価報告書

令和8年8月

大洲市教育委員会

目 次

◇ はじめに 1 ~ 8

- | | | |
|---|--------------------------|---|
| 1 | 令和7年度大洲市教育委員会教育基本方針・主要施策 | 3 |
|---|--------------------------|---|

◇ 教育委員会活動報告 9 ~ 12

◇ 点検・評価結果 13~ 110

- | | | |
|---|----------------------------|-----|
| 1 | 基本方針1 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成 | 19 |
| 2 | 基本方針2 郷土を愛する心と世界に通用する人材の育成 | 31 |
| 3 | 基本方針3 個性を生かし可能性を伸ばす教育の推進 | 39 |
| 4 | 基本方針4 生涯学習の推進 | 45 |
| 5 | 基本方針5 文化・芸術の振興 | 55 |
| 6 | 基本方針6 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進 | 69 |
| 7 | 基本方針7 社会総がかりで取り組む教育環境づくり | 85 |
| 8 | 基本方針8 子供と向き合う教育環境づくり | 91 |
| 9 | 基本方針9 安全・安心な教育環境の構築 | 103 |

◇ 参考資料 111~ 113

- | | |
|---------------------|-----|
| 大洲市教育委員会外部評価委員会設置要綱 | 112 |
|---------------------|-----|

は じ め に

1 趣 旨

大洲市教育委員会では、平成 27 年度に策定した「大洲市教育大綱」における「ふるさと“大洲”を愛する人づくり」の基本理念のもと、3つの基本目標を達成するための基本方針に基づき教育主要施策を定め、様々な事業を展開し、大洲市教育の充実・発展に努めています。

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 26 条では、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならない。」と規定されています。

このことから、大洲市教育委員会では、効果的な教育行政の推進を図るとともに、市民の皆様への説明責任を果たすため、令和 7 年度の教育委員会の点検及び評価（以下「点検・評価」という。）を実施し、外部評価委員の意見も交え報告書にまとめました。

2 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、「教育基本方針」に基づき、毎年度策定している「教育主要施策」に位置付けて実施した施策・事業とし、基本方針 9 項目、80 事業について評価を行いました。

(1) 事業年度

令和 7 年度

(2) 教育基本方針

- ① 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成
- ② 郷土を愛する心と世界に通用する人材の育成
- ③ 個性を生かし可能性を伸ばす教育の推進
- ④ 生涯学習の推進
- ⑤ 文化・芸術の振興
- ⑥ スポーツの振興と健康・体力づくりの推進
- ⑦ 社会総がかりで取り組む教育環境づくり
- ⑧ 子供と向き合う教育環境づくり
- ⑨ 安全・安心な教育環境の構築

3 点検・評価の方法

- (1) 点検・評価に当たっては、個々の施策・事業ごとの実施状況及び成果を明らかにするとともに自己評価を行いました。
- (2) 点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する方を外部評価委員として委嘱し、御意見、御提言をいただきました。委員の方々は次のとおりです。

◇大洲市教育委員会外部評価委員会委員

(敬称略)

区 分	氏 名	備 考
委 員	藤岡 朋	元大洲市立学校長、元中央公民館長
委 員	西山 千春	前大洲市教育委員会教育委員
委 員	奥田 稔	元大洲市 P T A 連合会会長
委 員	源田 政幸	前大谷自治会長
委 員	古野 誉	元河辺中学校 P T A 会長

4 点検・評価結果の構成

(1) 主要施策

点検・評価の対象を「令和 7 年度大洲市教育委員会基本方針・主要施策」に掲げる 9 の基本方針にまとめ、方針ごとに点検・評価を実施しています。

(2) 主な事業の目的、実施状況、事業の成果、課題・問題点

主な施策・事業の目的や実施状況とともに、その成果や課題・問題点を整理しています。

(3) 外部評価委員の意見

教育委員会事務局が行った点検・評価の結果について、外部評価委員の方々からいただいた主な意見を掲載しています。

5 実施状況の報告

点検・評価結果の参考として、点検・評価の対象とした 80 の施策・事業について、「主要施策・事業調書」により個別の実施状況及び成果、課題・問題点等を掲載しています。

令和7年度 大洲市教育委員会教育基本方針・主要施策

大洲市教育委員会は、大洲市教育大綱における「ふるさと“大洲”を愛する人づくり」の基本理念のもと、3つの基本目標を達成するための基本方針に基づき、令和7年度の教育主要施策を次のように定め、大洲市教育の充実・発展に努めます。

基本目標1 未来を拓く^{ひら}子供の育成

<基本方針>

1 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成

子供一人一人に応じた指導方法の工夫・改善により、課題を見いだし、解決する能力を育み、ICT機器の特長を生かし確かな学力の定着と向上に努めます。また、自他の生命を尊重し、人を思いやる心を育む道德教育に取り組むとともに、望ましい生活習慣の定着や運動・食育の推進により健やかな心と体を育成します。

<主要施策>

(1) 学力及び体力の向上

- ア 学校の教育力向上推進事業
- イ 学校情報教育推進事業（ICT教育の推進）
- ウ 体力づくり推進事業

(2) 豊かな人間性の育成と人権・同和教育の推進

- ア 道德教育の推進
- イ 人権・同和教育推進事業

(3) 栄養バランスのとれた安全・安心な学校給食の提供

- ア 学校給食の充実及び地産地消推進事業
- イ 食育推進事業
- ウ 衛生管理の徹底と適切な施設の点検整備
- エ モニタリング及び運営委員会による定期的な点検・評価事業
- オ 学校給食センター次期事業者選定事業

<基本方針>

2 郷土を愛する心と世界に通用する人材の育成

地域の人々との出会いや地域の歴史・自然の学びを通して郷土を愛する心を育成します。また、キャリア教育の充実により、確かな夢を持って社会を生き抜く力を養うとともに、全ての領域での学習を通じて、SDGsの趣旨

を理解し実践できる国際感覚豊かな人材を育成します。

＜主要施策＞

(1) 郷土を愛する心の育成

- ア 郷土を愛する心の育成推進事業
- イ キャリア教育推進事業
- ウ 中学生版歴史副読本の改訂

(2) 国際感覚豊かな人材の育成

- ア A L T活用指導充実事業
- イ 国際理解コミュニケーション能力育成事業
- ウ 英検受検料補助事業
- エ 大洲市中学生等海外派遣事業

＜基本方針＞

3 個性を生かし可能性を伸ばす教育の推進

多様な個性のある子供たちがお互いを認め合い、個々の長所や可能性を伸ばす教育に取り組むとともに、一人一人の発達段階に応じた適切な指導や必要な支援の充実を通じて、誰一人取り残さない教育の推進を図ります。

＜主要施策＞

(1) S D G s の理念を取り入れた学習の推進

主体的・対話的で深い学びの推進

(2) 特別支援教育の充実

こども家庭センターとの連携強化

(3) 幼稚園教育の充実

- ア 質の高い幼児教育の推進
- イ 幼稚園・保育所・認定こども園と小学校との連携の推進

基本目標2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興

＜基本方針＞

1 生涯学習の推進

あらゆる世代の人がそれぞれのライフスタイルに合わせて主体的に学ぶことができるよう、多様な学習機会や情報を提供するとともに、幅広い世代の交流や地域活動を通じてリーダーとなる人材の育成や地域課題の解決を図ります。

＜主要施策＞

(1) 社会教育事業の推進

- ア 成人式～二十歳のつどい～
- イ 大洲市民大学
- ウ 科学体験フェスティバル in 大洲
- エ 社会教育関係団体活動支援事業
- オ 自治会活動支援事業
- カ 学級講座事業

(2) 図書館・視聴覚センター事業の推進

- ア 図書館資料収集整理事業
- イ 読書活動推進事業
- ウ 視聴覚教育推進事業

<基本方針>

2 文化・芸術の振興

本市の歴史や風土の中から生まれ、育まれた文化や文化財を保存・継承し、その魅力を発信・活用するとともに、文化・芸術に親しむ機会の提供や個性豊かな地域文化の創造に努め、誇れるふるさとづくりを推進します。

<主要施策>

(1) 文化・芸術活動の推進

- ア 親と子のコンサート事業
- イ 文化・芸術団体活動支援事業
- ウ 大洲市史編纂事業

(2) 文化財の保存と活用

- ア 文化財保存活用及び顕彰事業
- イ 名勝臥龍山荘庭園保存整備事業
- ウ 民俗芸能保存団体活動支援事業

(3) 文化財調査の実施

- ア 指定文化財見直し事業
- イ 市内遺跡確認調査事業
- ウ 郷土の先哲顕彰事業

(4) 博物館事業の推進

- ア 博物館資料収集整理事業
- イ 展示活動事業
- ウ 教育活動事業
- エ 博物館等施設再編の検討

＜基本方針＞

3 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進

スポーツイベントや施設の充実により、生涯にわたり日常的にスポーツに親しむ機会を提供し、健康寿命の延伸に取り組むことにより市民の心身の健康維持と体力の向上を図ります。

＜主要施策＞

(1) スポーツ振興の総合的かつ計画的な推進

- ア 大洲市スポーツ推進計画見直し事業
- イ 健康寿命延伸事業

(2) スポーツイベントの充実と開催

- ア 大洲市カヌーツーリング駅伝大会
- イ 大洲市駅伝大会
- ウ 大洲市健康マラソン大会

(3) 地域スポーツの推進

- ア 各地区スポーツ・レクリエーション活動充実事業
- イ スポーツ推進委員育成事業
- ウ 体育施設活用事業
- エ 地域スポーツクラブ活動体制整備事業

(4) スポーツ関係団体の育成

- ア スポーツ協会活動事業
- イ スポーツ少年団等活動事業

(5) プロスポーツを活用した地域振興

愛媛FC・FC今治・愛媛マンダリンパイレーツ・愛媛オレンジバイキングス等を通じた地域密着型活動支援事業

(6) スポーツを通じた交流の促進

- ア オンラインスポーツ推進事業
- イ 日本スポーツマスターズ 2025 事業

基本目標3 豊かな学びを支える教育環境づくり

＜基本方針＞

1 社会総がかりで取り組む教育環境づくり

家庭教育に関する学習機会の提供や相談体制の充実、さらには読書活動の推進により、家庭における教育力の向上を図るとともに、地域に根ざした特色ある学校づくりを推進するため、学校・家庭・地域が連携・協力し合える環境づくりに取り組みます。

＜主要施策＞

(1) 青少年健全育成事業の推進

- ア 学校・家庭・地域連携推進事業
- イ 市PTA連合会による家庭教育・青少年健全育成事業への支援
- ウ 「家族の出番です」通信講座事業
- エ 青少年センター運営事業

(2) 子供読書活動の推進

第3次大洲市子供読書活動推進計画に基づく施策の実施

＜基本方針＞

2 子供と向き合う教育環境づくり

複雑化・多様化する教育課題に対して、関係機関と連携した取組を推進し、研修の充実により教職員の資質・能力の向上に努めるとともに、教職員が子供一人一人と向き合える教育環境を整えます。

＜主要施策＞

(1) 相談体制の充実

- ア スクールソーシャルワーカー活用事業
- イ ハートなんでも相談員設置事業
- ウ スクールカウンセラー活用事業
- エ 教職員メンタルヘルス・個別相談事業

(2) 不登校への対応

- ア おおずふれあいスクール運営事業
- イ 校内サポートルーム設置事業

(3) 安全・安心な学校づくりの充実

防災・安全教育推進事業

(4) これからの学校経営の在り方の検討

- ア 学校運営協議会の推進事業
- イ 学校における働き方改革の推進

(5) 教職員等の資質・能力の向上

大洲市教育研究所運営事業

(6) 生徒指導の充実

いじめ・不登校等対策協議会推進事業

＜基本方針＞

3 安全・安心な教育環境の構築

教育施設の長寿命化対策をはじめ教育環境の整備を計画的に推進し、市民が安全で安心して、快適に学べる教育環境を構築します。

＜主要施策＞

(1) 学校施設・設備の充実

- ア 学校施設長寿命化改修及び計画の見直し
- イ 児童生徒用木製机椅子整備事業

(2) 社会教育施設・設備の充実

- 社会教育施設維持修繕等事業

(3) 社会体育施設・設備の充実

- ア 社会体育施設の充実と活用
- イ カヌー拠点施設整備事業
- ウ 社会体育施設空調設備整備事業
- エ 閉校施設利活用事業（ふれあい広場・屋内運動場）

教育委員会活動報告

1 教育委員会組織

◆ 委員の就任状況（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

氏 名	区 分	委員任期	摘 要
櫛部 昭彦	教育長	R8. 3. 1～R11. 2. 28	R8. 3. 1 再任
山内 光郎	委員	R6. 3. 1～R10. 2. 29	R6. 3. 1 再任 R4. 3. 1 教育長職務代理者就任
吉岡 恵一	委員	R5. 4. 1～R9. 3. 31	R5. 4. 1 再任
久米山雅美	委員	R8. 3. 1～R12. 2. 28	R8. 3. 1 再任
渡邊 美雪	委員	R7. 3. 1～R11. 2. 28	R7. 3. 1 新任

2 教育委員会の会議等の開催状況

◆ 会 議

毎月1回定例会を開催し、必要に応じて臨時会を開催した。

① 令和7年度の会議開催状況

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
定例会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
臨時会												1	1
計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	13

② 令和7年度の議案等の付議状況

<定例会>

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
議 案	3	5	3	1		1		2		4	8	20	47
報告事項					1	1	1				2		5
その他	2	1	1	1	1					2	2	2	12
計	5	6	4	2	2	2	1	2		6	12	22	64

<臨時会>

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
議 案												1	1
報告事項													
その他													
計												1	1

3 その他の活動

◆ 委員研修会等への参加

① 南予管内市町等教育委員会連合会総会

期 日 令和7年5月26日（月）
場 所 内子自治センター 多目的ホール
参加者 教 育 長 櫛 部 昭 彦 教育長職務代理者 山 内 光 郎

② 「えひめ教育の日」推進大会・推進フェスティバル

期 日 令和7年11月16日（日）
場 所 国立大洲青少年交流の家
参加者 教 育 長 櫛 部 昭 彦

③ 南予教育を考える集い

期 日 令和7年11月27日（木）
場 所 県歴史文化博物館
参加者 教 育 長 櫛 部 昭 彦 教育長職務代理者 山 内 光 郎
委 員 吉 岡 恵 一 委 員 久米山 雅 美
委 員 渡 邊 美 雪

④ 南予管内市町等教育委員会連合会教育委員会研修会

期 日 令和8年1月28日（水）
場 所 宇和島市役所本庁 2階大会議室
参加者 教 育 長 櫛 部 昭 彦 教育長職務代理者 山 内 光 郎
委 員 吉 岡 恵 一 委 員 久米山 雅 美
委 員 渡 邊 美 雪

◆ 委員研修会の開催

① 市内教育施設視察研修

期 日 令和7年9月29日（月）
場 所 八幡神社・総合体育館
参加者 教 育 長 櫛 部 昭 彦 教育長職務代理者 山 内 光 郎
委 員 吉 岡 恵 一 委 員 久米山 雅 美
委 員 渡 邊 美 雪

② 教育委員県外視察研修

期 日 令和7年10月6日（月）～7日（火）
場 所 大分県（九重町・豊後大野市・佐伯市）
参加者 教 育 長 櫛 部 昭 彦 教育長職務代理者 山 内 光 郎
委 員 吉 岡 恵 一 委 員 久米山 雅 美
委 員 渡 邊 美 雪

主要施策〔事業調書〕

点検・評価結果

自己評価基準

- ◎ 順調
- 概ね順調
- △ やや順調でない
- × 順調でない
- － 未実施

空

白

基本目標	基本方針	主要施策
1 未来を拓く子どもの育成	1 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成	1 学力及び体力の向上 2 豊かな人間性の育成と人権・同和教育の推進 3 栄養バランスのとれた安全・安心な学校給食の提供
	2 郷土を愛する心と世界に通用する人材の育成	1 郷土を愛する心の育成 2 国際感覚豊かな人材の育成
	3 個性を生かし可能性を伸ばす教育の推進	1 S D G sの理念を取り入れた学習の推進 2 特別支援教育の充実 3 幼稚園教育の充実
2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興	1 生涯学習の推進	1 社会教育事業の推進 2 図書館・視聴覚センター事業の推進
	2 文化・芸術の振興	1 文化・芸術活動の推進 2 文化財の保存と活用 3 文化財調査の実施 4 博物館事業の推進
	3 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進	1 スポーツ振興の総合的かつ計画的な推進 2 スポーツイベントの充実と開催 3 地域スポーツの推進 4 スポーツ関係団体の育成 5 プロスポーツを活用した地域振興 6 スポーツを通じた交流の促進
3 豊かな学びを支える教育環境づくり	1 社会総がかりで取り組む教育環境づくり	1 青少年健全育成事業の推進 2 子供読書活動の推進
	2 子供と向き合う教育環境づくり	1 相談体制の充実 2 不登校への対応 3 安全・安心な学校づくりの充実 4 これからの学校経営の在り方の検討 5 教職員等の資質・能力の向上 6 生徒指導の充実
	3 安全・安心な教育環境の構築	1 学校施設・設備の充実 2 社会教育施設・設備の充実 3 社会体育施設・設備の充実

令和7年度点検評価施策・事業一覧

施策	No.	事業名	自己評価	
			課長	担当
1-1-1	1	学校の教育力向上推進事業	○	○
	2	学校情報教育推進事業（ＩＣＴ教育の推進）	○	○
	3	体力づくり推進事業	○	○
1-1-2	4	道徳教育の推進	○	○
	5	人権・同和教育推進事業	○	○
1-1-3	6	学校給食の充実及び地産地消推進事業	○	○
	7	食育推進事業	◎	○
	8	衛生管理の徹底と適切な施設の点検整備	○	○
	9	モニタリング及び運営委員会による定期的な点検・評価事業	○	○
	10	学校給食センター次期事業者選定事業	◎	○
1-2-1	11	郷土を愛する心の育成推進事業	○	○
	12	キャリア教育推進事業	○	○
	13	中学生版歴史副読本の改訂	○	○
1-2-2	14	A L T活用指導充実事業	◎	◎
	15	国際理解コミュニケーション能力育成事業	○	○
	16	英検受験料補助事業	○	○
	17	大洲市中学生等海外派遣事業	○	○
1-3-1	18	主体的、対話的で深い学びの推進	○	○
1-3-2	19	こども家庭センターとの連携強化	○	○
1-3-3	20	質の高い幼児教育の推進	◎	◎
	21	幼稚園・保育所・認定こども園と小学校との連携の推進	○	○
2-1-1	22	成人式～二十歳のつどい～	○	○
	23	大洲市民大学	◎	○
	24	科学体験フェスティバルin大洲	○	○
	25	社会教育関係団体活動支援事業	○	○
	26	自治会活動支援事業	○	○
	27	学級講座支援事業	○	○
2-1-2	28	図書館資料収集整理事業	○	○
	29	読書活動推進事業	○	○

施策	No.	事業名	自己評価	
			課長	担当
2-1-2	30	視聴覚教育推進事業	○	○
2-2-1	31	親と子のコンサート事業	○	○
	32	文化・芸術団体活動支援事業	○	○
	33	大洲市史編纂事業	○	○
2-2-2	34	文化財保存活用及び顕彰事業	○	○
	35	名勝臥龍山荘庭園保存整備事業	◎	◎
	36	民俗芸能保存団体活動支援事業	○	○
2-2-3	37	指定文化財見直し事業	○	○
	38	市内遺跡確認調査事業	○	○
	39	郷土の先哲顕彰事業	○	○
2-2-4	40	博物館資料収集整理事業	○	○
	41	展示活動事業	○	○
	42	教育活動事業	○	○
	43	博物館等施設再編の検討	○	○
2-3-1	44	大洲市スポーツ推進計画見直し事業	○	○
	45	健康寿命延伸事業	○	○
2-3-2	46	大洲市カヌーツーリング駅伝大会	○	○
	47	大洲市駅伝大会	○	○
	48	大洲市健康マラソン大会	○	○
2-3-3	49	各地区スポーツ・レクリエーション活動充実事業	○	○
	50	スポーツ推進委員育成事業	○	○
	51	体育施設活用事業	○	○
	52	地域スポーツクラブ活動体制整備事業	○	○
2-3-4	53	スポーツ協会活動事業	○	○
	54	スポーツ少年団等活動事業	○	○
2-3-5	55	愛媛FC・FC今治・愛媛マンダリンパイレーツ・愛媛オレンジバイキングス等を通じた地域密着型活動支援事業	○	○
2-3-6	56	オンラインスポーツ推進事業	○	○
	57	日本スポーツマスターズ2025事業	○	○
3-1-1	58	学校・家庭・地域連携推進事業	○	○
	59	市PTA連合会による家庭教育・青少年健全育成事業への支援	○	○

施策	No.	事業名	自己評価	
			課長	担当
3-1-1	60	「家族の出番です」通信講座事業	○	○
	61	青少年センター運営事業	○	○
3-1-2	62	第3次大洲市子供読書活動推進計画に基づく施策の実施	○	○
3-2-1	63	スクールソーシャルワーカー活用事業	○	○
	64	ハートなんでも相談員設置事業	○	○
	65	スクールカウンセラー活用事業	○	○
	66	教職員メンタルヘルス・個別相談事業	○	○
3-2-2	67	おおずふれあいスクール運営事業	○	○
	68	校内サポートルーム設置事業	○	○
3-2-3	69	防災・安全教育推進事業	○	○
3-2-4	70	学校運営協議会の推進事業	○	○
	71	学校における働き方改革の推進	○	○
3-2-5	72	大洲市教育研究所運営事業	○	○
3-2-6	73	いじめ・不登校等対策協議会推進事業	○	○
3-3-1	74	学校施設長寿命化改修及び計画の見直し	○	○
	75	児童生徒用木製机椅子整備事業	○	○
3-3-2	76	社会教育施設維持修繕等事業	○	○
3-3-3	77	社会体育施設の充実と活用	○	○
	78	カヌー拠点施設整備事業	○	○
	79	社会体育施設空調設備整備事業	○	○
	80	閉校施設利活用事業（ふれあい広場・屋内運動場）	△	△

順調	◎	6	3
概ね順調	○	73	76
やや順調でない	△	1	1
順調でない	×	0	0
未実施	—	0	0
計		80	80

空

白

基本方針1 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R7
基 本 目 標	1 未来を拓く子どもの育成				
基 本 方 針	1 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成				
主 要 施 策	1 学力及び体力の向上				
事 業 名	1 学校の教育力向上推進事業				
目 的	全国学力・学習状況調査等の調査及び全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果をもとに、各小中学校の実態を把握し、各小中学校の実態に応じた学力及び体力の向上を図る。				
事業実施状況	<p>全国学力・学習状況調査及び全国体力・運動能力・運動習慣等調査をもとに、全国や県との比較をしたり、各小中学校の実態の把握に努めたりした。</p> <p>学力に関しては、購入した教材等による学習内容の定着を図るよう各校の学力向上推進主任と共通理解を図るとともに情報交換に努めた。また、小中学校各1校において南予教育事務所要請訪問を兼ねた学力向上専門委員会研究授業を開催。授業を参観し、学力向上のために校内で取り組んでいることを共有するとともに、全国学力・学習状況調査や県の学力診断調査等の結果分析や経年比較を基に、学力向上のためのアドバイスをを行った。また、これらの各小中学校の情報を共有するとともに、それぞれの改善点について協議を行った。</p> <p>また、令和5年度から小学生が活用しているオンライン学習教材「スマイルネクストドリル」は、令和7年度から中学生にも使用できるように整備し、教育課程に沿った個別の学習支援に向けた利用を進めた。</p>				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予 算 額	4,908	3,282	3,081	4,622
	決 算 額	4,817	3,236	3,081	4,485
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	98.1%	98.6%	100.0%	97.0%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	4,817	3,236	3,081	4,485
事業の成果	<p>国や県の各種調査の分析をもとに、学力の向上のための共通理解や情報交換を行うことができた。また、市独自に導入したWEB学習支援アプリ等や県CBTシステム「EILS」の活用も定着しつつあり、学校・児童の実態に応じた教材等の活用、授業研究など、学力向上に向けて積極的に取り組むことができた。</p>				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	小中学校でオンライン学習教材の使用率向上に向けて、教職員への研修を重ねたい。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R7
基 本 目 標	1 未来を拓く子どもの育成				
基 本 方 針	1 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成				
主 要 施 策	1 学力及び体力の向上				
事 業 名	2 学校情報教育推進事業（ＩＣＴ教育の推進）				
目 的	<p>一人一人の子供たちの能力や特性に応じた「個別学習」や、子供たちが教え合い学び合う「協働学習」の実現を目指し、ＩＣＴを効果的に活用した授業のあり方を検討するなど、「新しい学び」を推進して学力の向上に取り組む。</p> <p>G I G Aスクール構想の推進のため、ＩＣＴ環境の効果的な活用等について研究を行う。</p>				
事 業 実 施 状 況	<p>大洲市学校情報教育推進協議会の活動を中心に、学校の情報教育の推進に関する基本的な事項とＩＣＴ環境の整備及び利活用促進に関する検討を行った。</p> <p>1 大洲市学校情報教育推進協議会の開催</p> <p>(1) 第28回協議会（5/19）R7活動計画</p> <p>(2) 第29回協議会（12/16）前期の活動報告・後期の予定確認</p> <p>(3) 第30回協議会（3/17）R7活動報告・R8活動計画</p> <p>2 各部会の開催</p> <p>(1) セキュリティ部会（12/19・1/20・2/16・3/10）</p> <p>(2) 校務支援部会（1/27）</p> <p>(3) ミライムレター部会（7/23・1/27）</p> <p>3 各種研修会の開催</p> <p>(1) 活用実技研修（ロイポート、eスタ、スマイルネクストリル）</p> <p>(2) 新端末・新アプリケーションの活用について</p> <p>8/20, 25 Chromebookスタートアップ研修</p> <p>8/28 WinBird活用研修会</p> <p>(3) 職域別研修（教頭会、ICT班会、事務部会、養護部会）</p>				
事 業 年 度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予 算 額	0	0	0	0
	決 算 額	0	0	0	0
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
事 業 区 分	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	
財 源	国 庫 補 助 金	0	0	0	0
	県 補 助 金	0	0	0	0
	地 方 債	0	0	0	0
	そ の 他 特 財	0	0	0	0
	一 般 財 源	0	0	0	0
事 業 の 成 果	<p>各種研修等を通じて、アプリケーション等の活用力の向上を図ることができた。また、児童生徒用G I G A端末の更新に伴い、大洲市立小中学校教育情報セキュリティポリシーを改定・周知し、情報セキュリティ対策を一層強化した。</p>				
自 己 評 価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課 題 ・ 問 題 点	<p>大洲市学校教育情報化推進計画（第2期：R7～R11）の実施にあたり、引き続きＩＣＴ教育の推進を図る。</p>				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R7
基 本 目 標	1 未来を拓く子どもの育成				
基 本 方 針	1 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成				
主 要 施 策	1 学力及び体力の向上				
事 業 名	3 体力づくり推進事業				
目 的	各小中学校の実態等に応じた取組を推進する。県教委が設けている I T スタジアムを積極的に活用し、基礎体力と運動能力の向上を図る。				
事業実施状況	<p>県教委が設けている I T スタジアムを積極的に活用するように、各学校に呼び掛けた。</p> <p>1 チャレンジ部門 4 種目 スローアンドキャッチラリー、長縄跳び 8 の字ジャンプ、チームリレー</p> <p>2 ポイント獲得部門 エブリイデイスポーツ みんなで逆上がり、みんなで縄跳び、みんなでジャンプ みんなでキック、みんなでランニング、みんなでダンス みんなでリズム水泳、みんなでアスレチック えがおダンス、えがお体操</p> <p>3 創作部門 2 種目 レッツリズムダンス、体力アップエクササイズ</p> <p><入賞結果> ○スローアンドキャッチラリー 6 位 (久米小 2 年) ○長縄跳び 7 位 (平小 3 年) 9 位 (新谷小 4 年)</p>				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予 算 額	0	0	0	0
	決 算 額	0	0	0	0
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
事業区分	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0
事業の成果	<p>I T スタジアムに市内の全小学校が参加している。</p> <p>チャレンジ部門において、県下で上位に入賞するなど、各校のがんばりが見られた。研修会を通して、体育授業の改善や運動・スポーツ活動の効果的指導方法を身に付けることができた。</p>				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	更に運動の習慣化や運動することへの意欲を高め、日常的な体力向上に取り組む具体的な工夫が必要である。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R7
基 本 目 標	1 未来を拓く子どもの育成				
基 本 方 針	1 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成				
主 要 施 策	2 豊かな人間性の育成と人権・同和教育の推進				
事 業 名	4 道徳教育の推進				
目 的	道徳科について、指導計画の見直しを行うとともに、授業改善や評価方法の研修を進める。				
事業実施状況	<p>各校において、指導計画を見直したり、授業改善、評価方法の研修を行ったりするよう呼び掛けた。</p> <p>愛媛県総合教育センター「愛媛学びの森学習支援サイト」に掲載された「愛媛県特色ある道徳教育推進事業研究推進校の研究概要」を、道徳教育の推進に向け、活用するように呼び掛けた。</p> <p>また、各校において道徳教育に関する研修を行うとともに、各校の道徳教育推進教師や教務主任が中心となって、評価方法について情報交換を行った。</p>				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予 算 額	0	0	0	0
	決 算 額	0	0	0	0
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
事業区分	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0
事業の成果	大洲市教育研究所道徳班会(兼：心の教育専門委員会)等において研修・情報交換を行ったり、各校において道徳教育の研修を行ったりして、道徳教育を推進することができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	「特別の教科道徳」として充実させるため、年間指導計画や指導・評価方法等のPDCAサイクルを各校で確立していく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R7
基 本 目 標	1 未来を拓く子どもの育成				
基 本 方 針	1 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成				
主 要 施 策	2 豊かな人間性の育成と人権・同和教育の推進				
事 業 名	5 人権・同和教育推進事業				
目 的	各小中学校における人権・同和教育の指導計画を見直し、学校の状況に応じた適切な指導を進める。また、教職員の研修が深まるよう支援を行う。				
事業実施状況	<p>人権・同和教育の全体計画と年間指導計画について、各校での見直しや点検、教育委員会事務局での確認を行い、事業の充実を図った。</p> <p>ポイントは次の2点である。全体計画は、学校における人権・同和教育の基本的な方針を示すとともに、学校の教育活動全体を通して、人権・同和教育の目標を達成するための方策を総合的に示したものであること。年間指導計画は、全体計画に基づき、児童生徒の発達段階に即して各年度に行う人権・同和教育の指導内容・方法等を具体化した全学年にわたる指導計画であること。</p> <p>令和7年度は、愛媛県人権・同和教育研究大会(松山市会場)に20人が参加して、研修した内容を校内研修に役立てた。また、南予地区人権・同和教育研究協議会(内子町会場)においては、25人が参加した。今年度は、肱川中学校の取組について実践報告をし、各分科会では熱心な協議を行うことができた。また、人権・同和教育主任班会において各校の取組等について研修を行った。</p> <p>また、いじめ等の防止や性的マイノリティ等について、県教委からの通知資料を基に各校に情報を提供し、積極的に自校の課題に取り組むよう働き掛けた。</p>				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予 算 額	0	0	0	0
	決 算 額	0	0	0	0
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
事業区分	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0
事業の成果	<p>各学校の人権・同和教育主任が、開催された研究会に参加して、校内の人権・同和教育の全体計画と年間指導計画に活用することができた。</p> <p>いじめ等の防止や、性的マイノリティ等の差別の防止に向けて取り組むことができた。</p>				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	<p>人権・同和教育の全体計画と年間指導計画は、年度末の課題をもとに、見直し改善する必要がある。性的マイノリティ等への理解促進を進めるとともに、多様な対応ができるよう差別等への対策に向けて更なる取組が必要である。</p>				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	学校給食センター	係 名	庶務係	年度	R7
基 本 目 標	1 未来を拓く子どもの育成				
基 本 方 針	1 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成				
主 要 施 策	3 栄養バランスのとれた安全・安心な学校給食の提供				
事 業 名	6 学校給食の充実及び地産地消推進事業				
目 的	栄養バランスが取れ、食物アレルギーを有する児童生徒にも対応した安全安心な学校給食を提供するとともに、大洲産の生鮮野菜、果物類の使用率のさらなる向上と調達の安定化を図る。				
事 業 実 施 状 況	<p>献立や食材に児童生徒の意見を取り入れながら、栄養バランスが取れ、食物アレルギーを有する児童生徒にも対応した安全安心な学校給食の提供に努めた。</p> <p>また、大洲産の生鮮野菜・果物類使用率の更なる向上と調達の安全を図るため、「愛たい菜」や地元納入業者との連携を密にして、供給ルートの確保、端境期対策に努めた。</p> <p>1 給食実施状況</p> <p>(1) 対象 25施設【小学校12、中学校8、幼稚園・こども園5】</p> <p>(2) 給食実施日数 199日</p> <p>(3) 実施食数 574,557食</p> <p>2 リクエスト献立 25日</p> <p>3 アレルギー対応</p> <p>(1) アレルギーのある児童生徒等の把握 254人</p> <p>(2) アレルギー献立表の送付 62人</p> <p>(3) アレルギー対応食の提供 44人</p> <p>4 大洲産使用率（重量ベース）</p> <p>(1) 生鮮野菜 59.8%</p> <p>(2) お米（大洲産にこまる）100%</p> <p>5 「愛たい菜」との連携</p> <p>愛たい菜に毎月献立表を送付して地元野菜の使用可能量を把握し、発注時に調整を行った。</p> <p>6 旬の地元産食材活用のための献立検討</p> <p>地産多消推進協議会の助成金を活用した献立の実施</p>				
事 業 年 度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予 算 額	0	0	0	0
	決 算 額	0	0	0	0
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
事 業 区 分	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0
事 業 の 成 果	<p>リクエスト献立や大洲の食材を使ったメニューなど、趣向を凝らした完全給食事業が実施できた。</p> <p>生鮮野菜のほか、地元産の冷凍野菜や季節に応じた果物を使用した、天候や害虫被害による不作により、地産地消率は59.8%となった。</p>				
自 己 評 価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課 題 ・ 問 題 点	天候の影響による量の確保や規格のばらつき、端境期の調達といった課題があるため、愛たい菜等との連携を密にし対策を図る必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	学校給食センター	係 名	庶務係	年度	R7
基 本 目 標	1 未来を拓く子どもの育成				
基 本 方 針	1 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成				
主 要 施 策	3 栄養バランスのとれた安全・安心な学校給食の提供				
事 業 名	7 食育推進事業				
目 的	食育指導や施設の見学をとおして、子どもたちが生きる力となる食に関する正しい知識を身につけ、保護者や市民に食育の大切さについて啓発を図る。				
事業実施状況	<p>子どもたちが、生きる力となる食に関する正しい知識を身に付けるため、学校で食育指導を行い、保護者や市民を対象とした食育講演、食育ポスターコンクールの開催により、食に関する意識の啓発を図った。</p> <p style="text-align: right;">※（ ）は、前年度値</p> <p>1 給食センター施設見学対応 (1) 施設数・・・10施設 (2) 見学者数・・・356人 (242人)</p> <p>2 講演、指導 (1) 開催回数・・・29回 (21回) (2) 対象者数・・・517人 (167人) (3) 内 容 栄養相談・小児習慣病指導、調理実習の指導及び補助 給食指導及び食に関する指導</p> <p>3 食育コンクール (1) 参加数・・・ポスター423件 (345件)、標語1,763件 (1,490件) (2) 応募数・・・ポスター351件 (317件)、標語 420件 (397件)</p>				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予 算 額	599	647	667	636
	決 算 額	522	581	572	589
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	87.1%	89.8%	85.8%	92.6%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	522	581	572	589
事業の成果	<p>学校給食センターの視察、食に関する講演を実施することで、児童生徒や保護者に食の大切さを伝え、調理従事者への感謝の心を育むことが出来た。</p> <p>また、食育コンクールでは、食に関するポスターや標語を募集し、愛たい菜での作品展示や広報紙・公式ホームページに掲載を行うことで、子どもだけでなく広く一般に地産地消や食の大切さについて啓発をすることができた。</p>				
自己評価	所 属 長	◎	担 当 者	○	
課題・問題点	引き続き、食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであるということについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うことに寄与していきたい。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	学校給食センター	係 名	庶務係	年度	R7
基 本 目 標	1 未来を拓く子どもの育成				
基 本 方 針	1 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成				
主 要 施 策	3 栄養バランスのとれた安全・安心な学校給食の提供				
事 業 名	8 衛生管理の徹底と適切な施設の点検整備				
目 的	調理従事者等の衛生管理に関する資質向上と意識啓発を図り、細菌検査、ノロウイルス検査による衛生管理の徹底を図る。 薬剤師の協力を得て施設を点検し、食中毒の発生防止を図る。				
事業実施状況	<p>1 調理従事者等の衛生研修と細菌検査等の実施 調理従事者等の衛生管理研修を毎月行い、個々の資質向上と意識の啓発を図り、感染症の流行期には通常の細菌検査に加えてノロウイルス検査を行い、衛生管理の徹底を図った。 (1) ノロウイルス検査・・・10月～3月（6回） (2) 腸内細菌検査・・・・・・毎月2回 (3) 調理従事者衛生研修・・・毎月1～2回</p> <p>2 施設の点検整備 学校給食衛生管理基準に基づき、学校薬剤師の協力を得て、施設の点検整備と徹底的な衛生管理に努めた。 (1) 第1学期 6月12日 (2) 第2学期 11月20日 (3) 第3学期 2月9日</p>				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予 算 額	182	190	279	313
	決 算 額	143	157	198	259
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	78.6%	82.6%	71.0%	82.7%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	143	157	198	259
事業の成果	<p>調理従事者等を対象とした衛生研修会を開催し、衛生管理の意識向上を図るとともに、感染症の流行期には通常の細菌検査に加えてノロウイルス検査を行い、衛生管理の徹底を図った。 学校給食衛生管理基準に基づき、学校薬剤師の協力を得て、学期ごとに施設の点検を行い、衛生管理の充実を図った。</p>				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	食中毒の発生には細心の注意を払う必要があることから、PFI事業者と連携し、衛生管理の徹底を図り、安全・安心な給食の提供に取り組む必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	学校給食センター	係 名	庶務係	年度	R7
基 本 目 標	1 未来を拓く子どもの育成				
基 本 方 針	1 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成				
主 要 施 策	3 栄養バランスのとれた安全・安心な学校給食の提供				
事 業 名	9 モニタリング及び運営委員会による定期的な点検・評価事業				
目 的	P F I 事業者が行う維持管理・運営業務に対し、定期的にモニタリングを実施し、業務の履行確認を行うとともに、運営委員会を開催し、事業者との情報交換などさらなる連携を図る。				
事業実施状況	<p>事業者が行う維持管理・運営業務に対して日々の状況を確認しながら、関係者からのヒアリング、定期的なモニタリングを実施し、適切な業務執行の監視を行うとともに、運営委員会を開催し、事業者との綿密な情報交換などさらなる連携を図った。</p> <p>1 事業者から月次及び4半期ごとの業務報告書の提出 2 事業者のセルフモニタリング（年4回実施） 3 モニタリング及び運営委員会の実施 (1) 第1四半期（R7.7.15） ①要求水準の確認（未達項目なし） ②運営委員会（米缶の返し方について） (2) 第2四半期（R7.10.14） ①要求水準の確認（未達項目なし） ②運営委員会（要望事項なし） (3) 第3四半期（R8.1.14） ①要求水準の確認（未達項目なし） ②運営委員会（要望事項なし） (4) 第4四半期（R8.4.13） ①要求水準の確認（未達項目なし） ②運営委員会（食器・食缶、運営備品更新について）</p>				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予算額	0	0	0	0
	決算額	0	0	0	0
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
事業区分	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0
事業の成果	年4回のモニタリングにより、施設・設備の維持管理と運営業務の適切な履行確認ができています。また、規定された時間内に配送できるよう、学校施設の改修予定や通行止めなどの情報を提供し、適切な対応ができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	モニタリング・運営委員会による定期的な点検・評価事業を参考にしながら、令和8年度からの次期事業についても、専門業者による支援を受けながら、次期事業者への円滑な引継ぎを行う。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	学校給食センター	係 名	庶務係	年度	R7
基 本 目 標	1 未来を拓く子どもの育成				
基 本 方 針	1 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成				
主 要 施 策	3 栄養バランスのとれた安全・安心な学校給食の提供				
事 業 名	10 学校給食センター次期事業者選定事業				
目 的	当センターにおけるPFI事業が、令和8年度末日をもって契約期間が満了となるため、次期事業に向け「PFI事業の終了」及び「次期事業者の選定」を実施する。				
事業実施状況	<p>コンサルタント（次期事業支援業務委託）とともに、PFI事業終了後に採用する「包括的民間委託方式」に長期修繕（建屋・設備等）を加えるのか、加えるとしたらどのような契約形態にするのか、また次期事業者選定の決定方法（公募型プロポーザル方式、総合評価一般競争入札など）について協議検討を重ね、それらへの対応方針を決定した。</p> <p>1 コンサルタントとの打合せ回数 8回（8/1、9/1、10/10、11/7、12/12、1/22、2/25、3/26）</p> <p>2 打合せ内容</p> <p>(1) 長期修繕計画の作成、設備機器等台帳の整備</p> <p>(2) 終了時モニタリングに係る協議</p> <p>(3) 次期事業者の募集及び選定に係る書類の整理</p> <p>① 参加資格要件、募集・選定方法等の検討</p> <p>② 事業者の募集要項等の作成</p> <p>③ 要求水準書の作成</p> <p>④ 事業者選定基準の作成</p> <p>⑤ 募集に係る様式集の作成</p> <p>⑥ 事業契約書の作成 など</p>				
事業年度					R7
事業費	予 算 額				8,140
	決 算 額				7,590
	繰 越 額				0
	執 行 率				93.2%
事業区分					市単独事業
財 源	国庫補助金				0
	県補助金				0
	地方債				0
	その他特財				0
	一般財源				7,590
事業の成果	<p>コンサルタントとの綿密な打合せにより次期事業手法については、修繕を含めた10年間の「長期包括的民間委託」とし、公募型プロポーザルにより次期事業者を選定する方針を固めることができ、令和8年度における次期事業に係る予算措置、次期事業者選定へと着実に業務をつなげることができた。</p>				
自己評価	所 属 長	◎	担 当 者	○	
課題・問題点	令和8年12月の次期事業者との契約締結に向け、スケジュールどおり確実にを行う必要がある。				

基本方針１ 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成

【外部評価委員意見】

- 体力づくり推進事業について、子供の体力向上のために様々な事業を手がけていただいている。今後も子供の視点に立って新しいものを取り入れるよう努めてほしい。部門ごとの表彰についても、ある程度成績が出た方が指標にもなるので、今後も検討し調整して実施していただきたい。
- ITスタジアムは、県教委の事業として実施されており、市内全小学校の一部の学年で参加しているとのことだが、児童数が多い学校はある程度形になるが、規模の小さい学校もできるだけ参加しやすい形で運営できるよう取り組んでほしい。
- 人権・同和教育推進事業について、「人権教育」という表現で、ひとまとまりになっており、部落差別や同和教育のそれぞれの研修内容が薄れ、取り上げられてはいるけど定着していないような気がする。今後、例えば講師を依頼する場合、著名な方に依頼するとか、地域を絞って焦点化していくというような配慮をお願いしたい。
- 学校給食について、以前から地産地消の推進に御尽力いただいております、大洲産の食材使用率 59.8%という高い水準であり、子供たちに安全安心な給食を提供できているのではないかと感じている。今後も引き続き高い水準を維持してほしい。
- 学校給食について、以前から食物アレルギーへの対応はなされているが、献立表の送付やアレルギー対応食の提供など、細かな配慮がなされているので、保護者も安心して学校に通わせられ、今の学校給食運営は評価できる。

空

白

基本方針 2 郷土を愛する心と世界に通用する人材の育成

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R7
基 本 目 標	1 未来を拓く子どもの育成				
基 本 方 針	2 郷土を愛する心と世界に通用する人材の育成				
主 要 施 策	1 郷土を愛する心の育成				
事 業 名	11 郷土を愛する心の育成推進事業				
目 的	地域の人々との出会いや地域の歴史・自然の学びを通して郷土愛を育むとともに、中学生版歴史副読本等を活用して郷土の先哲の足跡を学び郷土の文化や自然を継承していく心を培う。				
事業実施状況	1 中学生版歴史副読本の活用 令和2年度に改訂版を発行した「中学生版歴史副読本」を中学1年生全員に配布し、郷土の自然・歴史・風土・人物又は地域の伝統行事や風習に関する知識を深めた。 2 「大洲のくらし」の活用 小学校3・4年社会科副教材「大洲のくらし」を活用して、郷土の歴史や文化や自然を愛し、継承していく心を育んだ。 昭和39年に初版発行して以来、約5年ごとに見直しを行い、時代に則した内容に改訂している。 (次回：令和8年度改訂)				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予 算 額	0	0	0	0
	決 算 額	0	0	0	0
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率		0.0%	0.0%	0.0%
事業区分	市単独事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0
事業の成果	中学生版歴史副読本及び「大洲のくらし」を社会科教材として使用するほか、総合的な学習の時間等を活用し、地域の方を講師として講話を聞いたり、体験活動を行ったりすることにより、郷土の自然・歴史・風土・人物及び伝統行事や風習に関する知識を深めることができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	改訂時には、二次元コードによる動画再生など、タブレット学習を見据えた工夫をするなど、児童生徒の知的好奇心を刺激する時代に沿った内容にしたい。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R7
基 本 目 標	1 未来を拓く子どもの育成				
基 本 方 針	2 郷土を愛する心と世界に通用する人材の育成				
主 要 施 策	1 郷土を愛する心の育成				
事 業 名	12 キャリア教育推進事業				
目 的	生徒が「生きる力」を身に付け、主体的に自己の進路を選択できるなど、社会人、職業人として自立していくことができるように5日間の職場体験等を実施する。				
事業実施状況	<p>生徒が「生きる力」を身に付け、将来直面するであろう様々な課題に対して、柔軟にたくましく対応し、主体的に自己の進路を選択できるなど、健全な勤労観や職業観、社会人・職業人として自立できる資質や能力の育成を目指すキャリア教育が強く求められており、職場体験学習を実施している。</p> <p>令和7年度は、予定通り全中学校が職場体験学習に取り組み、充実した活動を行うことができた。</p> <p>(1) 実施校 市内中学校8校 (2) 対 象 中学2年生 349名 (3) 事業所 延べ192箇所</p> <p>また、各学校において地域の実情や学校及び学級における創意工夫を生かした形で活用する「キャリア・パスポート」の積極的な活用を呼び掛けた。</p>				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予 算 額	90	75	65	40
	決 算 額	35	28	10	5
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	38.9%	37.3%	15.4%	12.5%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	35	28	10	5
事業の成果	各中学校が主体となり、生徒が希望する事業所等において職場体験学習を行った。生徒自身が活動に向けて、事前・事後の学習を自主的に行うことができ、地域に根差した地元事業所の良さを体得することができた。また、多くの事業所の協力により、働くことの意義や今後の望ましい職業観や勤労観を身に付けることができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	事業所には多大な協力をいただいているが、5日間連続での受け入れが難しい場合は、臨時で受け入れていただく事業所に一時的に御協力いただいている。令和8年度も、5日間同一事業所で活動することは難しいため、協力を依頼する。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R7
基 本 目 標	1 未来を拓く子どもの育成				
基 本 方 針	2 郷土を愛する心と世界に通用する人材の育成				
主 要 施 策	1 郷土を愛する心の育成				
事 業 名	13 中学生版歴史副読本の改訂				
目 的	地域の人々との出会いや地域の歴史・自然の学びを通して郷土愛を育むとともに、郷土の先哲の足跡を学び郷土の文化や自然を継承していく心を培うことを目的に作成した中学生版歴史副読本を5年ごとに改訂する。				
事業実施状況	<p>1 中学生版歴史副読本の改訂</p> <p>中学1年生全員に配布し、郷土の自然・歴史・風土・人物又は地域の伝統行事や風習に関する知識を深めるために中学1年生全員に配布している「中学生版歴史副読本」を前回改訂してから5年経過したため改訂を行った。</p> <p>(次回：令和12年度改訂)</p>				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予算額			1,749	
	決算額			1,739	
	繰越額	0	0	0	0
	執行率			99.4%	
事業区分				市単独事業	
財源	国庫補助金			0	
	県補助金			0	
	地方債			0	
	その他特財			0	
	一般財源	0	0	0	1,739
事業の成果	中学生版歴史副読本改訂委員会を設置し、経年による内容の変更や追加を行い、二次元コードによる動画再生など、児童生徒の知的好奇心を刺激する時代に沿った内容となった。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	5年後の改訂時には、さらにタブレット学習に即した工夫をするなど検討したい。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R7
基 本 目 標	1 未来を拓く子どもの育成				
基 本 方 針	2 郷土を愛する心と世界に通用する人材の育成				
主 要 施 策	2 国際感覚豊かな人材の育成				
事 業 名	14 A L T活用指導充実事業				
目 的	<p>中学校及び小学校5、6年生における外国語指導、小学校3、4年生における外国語活動の補助を行い、児童生徒の英語に対する興味、関心及び学習意欲を高め、外国語教育の充実を図る。</p>				
事業実施状況	<p>外国語教育の充実及び国際交流の発展を図るために、外国語指導助手（A L T）を10人配置し、それぞれの担当小中学校で外国語教育に従事することとしている。</p> <p>令和7年度において、在籍する10人のうち3人が任期を終えたが、英語教育の質を維持するため、3人の配置を要望していたところ、要望通り3人を確保することができ、令和7年度も引き続き10人の配置とすることができた。</p> <p>就学前の早い時期に英語とふれあう機会を設けるため、外国語指導助手の幼稚園、こども園、保育所等への派遣も行った。</p>				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予 算 額	32,557	30,286	47,110	56,403
	決 算 額	27,931	28,134	42,430	51,302
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	85.8%	92.9%	90.1%	91.0%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	27,931	28,134	42,430	51,032
事業の成果	<p>小学校高学年の外国語教育及び中学年の外国語活動において、教員の英語指導の向上を図ることができた。また、コミュニティセンターでの英会話教室を通じて、自国の文化や慣習の説明を行う等、地域住民の異文化理解にも貢献している。保育所やこども園への派遣を行い、就学前の早い時期から英語に触れ合う機会を設定できた。</p>				
自己評価	所 属 長	◎	担 当 者	◎	
課題・問題点	長期休業中におけるA L Tの活用について、検討する必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R7
基 本 目 標	1 未来を拓く子どもの育成				
基 本 方 針	2 郷土を愛する心と世界に通用する人材の育成				
主 要 施 策	2 国際感覚豊かな人材の育成				
事 業 名	15 国際理解コミュニケーション能力育成事業				
目 的	A L T、英語教員との英語キャンプや海外派遣等を通して、英語によるコミュニケーション能力の向上を図るとともに、英語に対する関心を高め、幅広く世界で活躍できる国際感覚豊かな人材を育成する。				
事業実施状況	<p>市内の中学校2・3年生を対象に参加者を募集し、令和7年度も夏季休業中2日間の「英語キャンプ」を計画した。参加者は昨年度よりも増え、50人であった。指導者は、大洲市A L T10人、大洲市英語教員12人。小学校教員1人と大洲市教育委員会事務局職員1人も参加した。</p> <p>また、令和7年度は、留学生が在籍している帝京第五高等学校バスケットボール部に協力いただき、バスケットボールを取り入れた英語学習のアクティビティを実施した。</p> <p>8月4日…開会式、入所式、アイスブレーカーゲーム、 イングリッシュレッスン 8月5日…グループアクティビティ、オンラインレッスン、 振り返り、閉会式</p>				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予 算 額	3,143	143	180	59
	決 算 額	3,028	93	63	30
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	96.3%	65.0%	35.0%	50.8%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	2,000	0	0	0
	一般財源	1,028	93	63	30
事業の成果	今年度もオンラインで海外の方との英語での交流を行った。また帝京第五高校バスケットボール部の留学生を含めた高校生との活動は大変有意義な活動となった。参加者も増え、充実した内容で、活発な英語活動での交流が実施できた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	英語に興味があれば誰でも参加できる間口が広がった分、英語コミュニケーションの能力にも差異が生じている。全員が活動の楽しさを共有できる活動プログラムの設定が必要である。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R7
基 本 目 標	1 未来を拓く子どもの育成				
基 本 方 針	2 郷土を愛する心と世界に通用する人材の育成				
主 要 施 策	2 国際感覚豊かな人材の育成				
事 業 名	16 英検受験料補助事業				
目 的	公益財団法人日本英語検定協会が実施する実用英語技能検定の受験機 会の拡大を目指し、英語力及び学習意欲の向上と子育て世代の経済的負 担を軽減するとともに、児童生徒の学習の機会の均等性を保つ。				
事 業 実 施 状 況	<p>令和7年度からの新規事業として実施し、小・中学生が受検する3級以 上の英検について、年度内1回を限度として半額を補助している。</p> <p>令和7年度受検人数 3級 68人 準2級以上 31人 合計 99人</p>				
事 業 年 度				R7	
事業費	予 算 額				455
	決 算 額				263
	繰 越 額				0
	執 行 率				57.8%
事 業 区 分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金				0
	県補助金				0
	地方債				0
	その他特財				0
	一般財源				263
事 業 の 成 果	<p>受検に対する補助があることで、一定数の受検者数を確保することが できた。また、3級を取得した生徒がさらに準2級、2級と挑戦するこ とにつながり、英語力の向上につながっている。</p>				
自 己 評 価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課 題 ・ 問 題 点	<p>受検者が100人未満となり、予想をはるかに下回った。また、小学生 の3級以上の受検者数も1名となっている。中学校卒業までに3級以上 の取得者数を上げるため、英語への興味・関心を高め、英検取得の必要 性を周知していく必要がある。</p>				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R7
基 本 目 標	1 未来を拓く子どもの育成				
基 本 方 針	2 郷土を愛する心と世界に通用する人材の育成				
主 要 施 策	2 国際感覚豊かな人材の育成				
事 業 名	17 大洲市中学生等海外派遣事業				
目 的	これからの大洲市を担う中学生等を海外に派遣し、異国の文化、歴史、経済、生活習慣及び国民性の違い等を肌で感受させ、その体験を通して国際的な感覚の涵養と視野を広めさせることにより、国際化時代にふさわしい人材を育成する。				
事業実施状況	<div>(梶山教育振興会助成事業)</div> <div>令和7年度から市内県立高等学校に在籍する高校生も対象に加え、海外への派遣を実施し、中学生12人、高校生2人を派遣することができた。</div> <div>1 派遣先 オーストラリア シドニー</div> <div>2 派遣期間 令和7年7月29日～8月9日（12日間）</div> <div>3 派遣校 カインドルヒルスクール（幼稚園～高校）</div> <div>4 ホームステイ 1・2名1家庭での受入れにより8泊</div>				
事業年度		R5	R6	R7	
事業費	予算額	3,400	7,160	8,000	
	決算額	2,786	6,235	7,758	
	繰越額	0	0	0	
	執行率	81.9%	87.1%	97.0%	
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	
	県補助金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他特財	2,400	2,400	2,044	
	一般財源	386	3,835	5,714	
事業の成果	派遣実施後にアンケートを行い、現地学校での合同授業や8泊のホームステイを通して、英語力の向上のほか、コミュニケーション能力や積極性、社交性の向上につながったという意見をいただいた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	物価高騰や円安の影響を受け、引き続き費用は高止まりの状態である。財政的な理由により事業を中止する市町もあり、事業の継続及び今後の実施方法については検討も必要となってくると思われる。				

基本方針２ 郷土を愛する心と世界に通用する人材の育成

【外部評価委員意見】

- キャリア教育推進事業について、職場体験を行うことにより、中学生が働くことの大切さを実感するために、大変重要な事業である。今後も継続して実施していただきたい。
- 国際理解コミュニケーション能力育成事業について、身近な高校のバスケットボール部員を通じて、英語活動を体験できたことは、本当に素晴らしいことである。これを機に更に高校生とのコミュニケーションを図り、盛り上がってほしい。
- 中学生等海外派遣事業について、今年度は既に出発しているとのことだが、国内旅行でさえ費用が高くなっているのに、海外となると更に高くなると推察する。今後も、子供たちが国際的な感覚の涵養のために世界を見るということは重要なので、継続事業として取り組んでほしい。

基本方針3 個性を生かし可能性を伸ばす教育の推進

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R7
基 本 目 標	1 未来を拓く子どもの育成				
基 本 方 針	3 個性を生かし可能性を伸ばす教育の推進				
主 要 施 策	1 S D G sの理念を取り入れた学習の推進				
事 業 名	18 主体的、対話的で深い学びの推進				
目 的	主体的、対話的で深い学びを実現し、新しい時代に求められる資質・能力を育成する学習活動を推進していく。協働学習、地域の人や教職員との対話、I C Tの活用等の有効な方法を適切に実施しながら、子供たちの学力向上に努めていく。				
事 業 実 施 状 況	<p>年間4回の学力向上専門委員会では、主体的、対話的で深い学びやI C Tを活用したアナログとデジタルのベストミックスを目指した授業改善に取り組んだ。</p> <p>10月29日(大洲北中学校:数学科)と、11月12日(新谷小学校:算数科)に開催した学力向上推進主任研修会においては、学力向上専門委員会が作成した「おおずの授業スタンダード」に沿った授業、I C T機器を活用した対話的な学習についての授業研究を行った。その際、南予教育事務所の指導主事より指導助言をいただき、工夫点や改善点等について情報共有を行った。また、各校にも「おおずの授業スタンダード」に沿った授業研究を行うよう呼び掛けた。</p>				
事 業 年 度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予 算 額	0	0	0	0
	決 算 額	0	0	0	0
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
事 業 区 分	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	
財 源	国 庫 補 助 金	0	0	0	0
	県 補 助 金	0	0	0	0
	地 方 債	0	0	0	0
	そ の 他 特 財	0	0	0	0
	一 般 財 源	0	0	0	0
事 業 の 成 果	主体的、対話的で深い学びについて、授業参観及び授業研究を通して学ぶことができ、I C T機器を活用した対話的な学習の推進も図ることができた。I C T機器やWEB学習支援ツールの利用により、教職員の授業研究や学習の準備における業務改善にもつながった。				
自 己 評 価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課 題 ・ 問 題 点	I C T機器を活用した対話的な学習について、今後も、研究を進めていかなければならない。WEB学習支援ツールやWEB学習教材の活用を啓発し、協働学習や体験学習の実践方法や、個別最適な学習支援の在り方についても、研究していかなければならない。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R7
基 本 目 標	1 未来を拓く子どもの育成				
基 本 方 針	3 個性を生かし可能性を伸ばす教育の推進				
主 要 施 策	2 特別支援教育の充実				
事 業 名	19 こども家庭センターとの連携強化				
目 的	障がいのある子供に対する早期からの一貫した支援の充実を図ることを目的とし、地域の幼児児童生徒の実態把握や支援について保護者や学校等に助言するとともに、関係機関の連携を図る。				
事業実施状況	(1) 大洲市教育相談 (2) 発達支援センター等連絡会 (3) 早期支援連携協議会（Web会議） (4) 南予地域発達障がい支援ネットワーク会議 (5) 大洲市障がい者自立支援協議会 (6) 保健センター連絡調整会議 (7) 3歳児健診カンファレンス (8) 幼稚園・保育所・こども園、小学校、中学校への巡回相談 (9) 発達障がい児家族等支援事業の準備 巡回相談等で、幼児児童生徒の実態把握に努め、切れ目のない支援が行えるよう、関係機関と連携を図った。				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予算額	7,312	7,896	9,761	1,433
	決算額	6,910	7,324	9,107	780
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	94.5%	92.8%	93.3%	54.4%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	6,910	7,324	9,107	780
事業の成果	こども家庭センターの設立後、互いに連携しながら各種業務を行うことができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	今後、こども家庭センターや関係部署とより一層連携を深め、切れ目のない支援体制を整えていく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	子育て支援課	係 名	保育幼稚園係	年度	R7
基 本 目 標	1 未来を拓く子どもの育成				
基 本 方 針	3 個性を生かし可能性を伸ばす教育の推進				
主 要 施 策	3 幼稚園教育の充実				
事 業 名	20 質の高い幼児教育の推進				
目 的	「こどもまんなか」を念頭に、質の高い教育・保育の実現が図られるよう幼児教育の在り方を検討・整理する。				
事業実施状況	<p>■ 公立就学前施設における幼児教育の在り方検討会 (参加者) 子育て支援課、全就学前施設長 他</p> <p>第1回 7/17 目標設定 第2回 8/18 こどもの最善の利益を目指す教育・保育 第3回 9/24 自分自身の振り返り 第4回 10/21 統一ルール作成の方向性 第5回 12/23 ルールの素案作成 第6回 1/29 素案検討 第7回 2/26 方針決定</p> <p>■ 「就学前施設職員の心構え～こどもの最善の利益を守るために～」 R8.2 策定 R8.3 全職員共有 R8.4～ 各施設において本格実践</p>				
事業年度				R7	
事業費	予 算 額				0
	決 算 額				0
	繰 越 額				0
	執 行 率				0.0%
事業区分				ゼロ予算事業	
財 源	国庫補助金				0
	県補助金				0
	地方債				0
	その他特財				0
	一般財源				0
事業の成果	<p>全幼稚園・保育所・こども園長によるグループワークの形で検討を行うことにより、保育士と幼稚園教諭の相互理解にもつながった。 今後、成果品「就学前施設職員の心構え」を活用し、各施設において共有を図り、実践する。</p>				
自己評価	所 属 長	◎	担 当 者	◎	
課題・問題点	<p>第2期幼稚園・保育所等再編計画に基づく認定こども園化を推進していく上で、少ないながらも根強い幼児教育のニーズへの対応ができる環境を整える必要がある。</p>				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名		子育て支援課		係 名	保育幼稚園係		年度	R7
基 本 目 標		1 未来を拓く子どもの育成						
基 本 方 針		3 個性を生かし可能性を伸ばす教育の推進						
主 要 施 策		3 幼稚園教育の充実						
事 業 名		21 幼稚園・保育所・認定こども園と小学校との連携の推進						
目 的		幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続を図り、子どもの健やかな成長と学びの連続性を確保する。						
事業実施状況		<p>園児と児童の交流、教職員間の情報共有や研修、就学前後の引継ぎなどを通じて、幼児期の学びを小学校教育へ円滑につなげる取組を進めている。</p> <p>■園児と小学生の交流活動 小学校見学、授業体験、遊び交流、合同行事など</p> <p>■幼保小連絡会の開催 園と小学校の先生が子どもの育ちや支援について情報共有</p> <p>■教職員の合同研修 保育・教育内容への理解を深める</p> <p>■架け橋期の取組 5歳児から小学1年生までの学びのつながりを意識した教育 架け橋期のカリキュラム作成 小学校指導要領の把握</p> <p>■幼児教育アドバイザーの活用</p>						
事業年度							R7	
事業費	予 算 額						0	
	決 算 額						0	
	繰 越 額						0	
	執 行 率						0.0%	
事業区分							ゼロ予算事業	
財 源	国庫補助金						0	
	県補助金						0	
	地方債						0	
	その他特財						0	
	一般財源						0	
事業の成果		園児が小学校生活を身近に感じることで入学への期待や安心感につながるとともに、園と小学校の教職員間の連携が深まり、スムーズな就学に向けた体制づくりにつながっている。						
自己評価		所 属 長	○	担 当 者	○			
課題・問題点		特になし						

基本方針３ 個性を生かし可能性を伸ばす教育の推進

【外部評価委員意見】

- 幼稚園・保育所・認定こども園と小学校との連携について、ひと昔前までは、子供は地域で育てると言われていたが、地域だけでなく、各学校校区で幼保小が連携し、小さいお子さんは、上級生に面倒をみてもらったり、皆がふれあうことによって、郷土愛が生まれてくるので、今後も継続して子育てしやすい環境を整えていただきたい。
- 「こどもまんなか」という言葉がとてもよい。子供を中心に想う気持ちが伝わってくる。以前は幼稚園と保育所が別々であったが、今は連携を密にして取り組まれており、就学に向けた醸成が図れている。

空

白

基本方針 4 生涯学習の推進

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化振興課	係 名	生涯学習係	年度	R7
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	1 生涯学習の推進				
主 要 施 策	1 社会教育事業の推進				
事 業 名	22 成人式～二十歳のつどい～				
目 的	次代を担う20歳の若者を招待し、祝福及び激励をするため、成人式を開催する。				
事業実施状況	<p>大洲市に在住しているか、または在住したことがある20歳の若者を招待し、令和7年度式典を下記のとおり実施した。</p> <p>【令和7年度成人式～二十歳のつどい～】</p> <p>1 日 時 令和8年1月11日（日）13：00～</p> <p>2 場 所 大洲市民会館</p> <p>3 内 容</p> <p>(1)式典（記念品・花束贈呈、祝辞、お礼のことば等）</p> <p>(2)記念撮影（中学校区別）</p> <p>4 参加者 271人（対象者369人）</p> <p>参加率 73.4%</p>				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予 算 額	2,176	2,111	1,773	1,830
	決 算 額	1,590	1,386	1,450	1,384
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	73.1%	65.7%	81.8%	75.6%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	1,590	1,386	1,450	1,384
事業の成果	<p>今年度はアトラクションとして若宮青年団による獅子舞を実施し、大変盛り上がった。</p> <p>また、新成人へシビックプライドの醸成および地域の魅力を再発見する契機となるよう、「大洲ええもんセレクション詰め合わせ」が当たる抽選会を実施し、好評であった。</p>				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	アトラクションなどの式典内容について、運営委員（成人者）の意見も聞きながら検討していく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化振興課	係 名	生涯学習係	年度	R7
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	1 生涯学習の推進				
主 要 施 策	1 社会教育事業の推進				
事 業 名	23 大洲市民大学				
目 的	市民参加の生涯学習の充実を図り、市民の文化に対する意識の高揚を図るとともに、新たな知識を吸収する場を提供することを目的として、時代や地域課題に即したテーマで大洲市民大学を開催する。				
事業実施状況	<p>【前期】</p> <p>1 講 師 丸山 貴史 氏 (図鑑制作者)</p> <p>2 演 題 『さんねんで、わけありな、動物のお話 ～強いものが生き残るわけではない動物の不思議～』</p> <p>3 日 時 令和7年8月23日(土) 14:00～15:30</p> <p>4 場 所 大洲市総合福祉センター 4階多目的ホール</p> <p>5 聴講者 171人</p> <p>【後期】</p> <p>1 講 師 二宮 博 氏 (元ガンバ大阪スカウト)</p> <p>2 演 題 『一流の共通点 ～スカウトマンの私が見てきた 成功を呼ぶ10の人間力～』</p> <p>3 日 時 令和7年11月8日(土) 14:00～15:30</p> <p>4 場 所 大洲市役所 2階大ホール</p> <p>5 聴講者 82人</p> <p>【特別編】</p> <p>1 講 師 仙波 美由記 氏 (公益財団法人やなせたかし記念アンパンマンミュージアム振興財団事務局長)</p> <p>2 演 題 『やなせたかしの人生と作品世界 ～香美市立やなせたかし記念館より～』</p> <p>3 日 時 令和8年3月15日(日) 14:00～15:30</p> <p>4 場 所 大洲市役所 2階大ホール</p> <p>5 聴講者 107人</p>				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予 算 額	1,315	1,320	2,499	1,507
	決 算 額	660	844	1,166	1,014
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	50.2%	63.9%	46.7%	67.3%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	660	844	1,166	1,014
事業の成果	<p>前期は親子、後期は現役スポーツ学生、特別編は高齢者など、それぞれターゲットに定めたところ、いずれも全参加者の約半数をターゲット層で占めることができた。</p> <p>聴講者を対象にしたアンケート結果では、95%を超える人が講演内容を「よかった」と回答している。</p>				
自己評価	所 属 長	◎	担 当 者	○	
課題・問題点	多くの市民に参加していただくために、多種多様な分野の中から時勢に合ったテーマや講師の選定を行い、有意義な講演会となるよう今後も検討が必要である。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名		文化振興課		係 名	生涯学習係		年度	R7
基 本 目 標		2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興						
基 本 方 針		1 生涯学習の推進						
主 要 施 策		1 社会教育事業の推進						
事 業 名		24 科学体験フェスティバルin大洲						
目 的		子供たちが科学実験や工作を直接体験し、自然の不思議さや科学の面白さを実感することにより、科学や技術に対する興味や関心を高めていくことを目的に開催する。						
事 業 実 施 状 況		<div>(桧山教育振興会助成事業)</div> <div>主に小中高生を対象として、小中学校、高校、高等専門学校等の教員や地域の有志が科学実験や工作等を直接体験できるブースを出展する体験型イベントを実施した。</div> <div>1 日 時 令和7年10月18日(土) 10:00～15:30</div> <div>2 場 所 ①国立大洲青少年交流の家(メイン会場) ②長高水族館(サブ会場)</div> <div>3 出展数 19ブース(長高水族館含む)</div> <div>4 来場者 1,575人(うち長高水族館は400人)</div> <div>5 スタッフ等 239人</div>						
事 業 年 度		R4		R5		R6		R7
事業費	予 算 額	1,783		1,754		1,787		1,773
	決 算 額	1,600		1,538		1,584		1,560
	繰 越 額	183		216		203		213
	執 行 率	89.7%		87.7%		88.6%		88.0%
事 業 区 分		その他		その他		その他		その他
財 源	国庫補助金	0		0		0		0
	県補助金	0		0		0		0
	地方債	0		0		0		0
	その他特財	1,100		1,038		1,084		1,060
	一般財源	500		500		500		500
事 業 の 成 果		アンケート結果などから、来場者である子供たちの科学等に対する興味・関心を高めることができたものとする。また、ブースの企画運営にあたる教職員の資質向上にも寄与することができた。						
自 己 評 価		所 属 長	○	担 当 者	○			
課 題 ・ 問 題 点		それぞれの年齢層に応じた体験ができるようにブース内容を工夫する必要がある。また、教員の働き方改革の観点から、出展数の調整や従事内容等の見直しも課題となっている。						

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化振興課	係 名	生涯学習係	年度	R7
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	1 生涯学習の推進				
主 要 施 策	1 社会教育事業の推進				
事 業 名	25 社会教育関係団体活動支援事業				
目 的	<p>明るい地域づくりと家庭づくり、健全な青少年の育成と家族のつながり強化のために、社会教育関係団体（大洲市婦人会及び大洲市PTA連合会）に補助金を交付し、活動を支援する。</p>				
事業実施状況	<p>社会教育関係団体に補助金を交付し活動を支援した。</p> <p>1 補助金交付額</p> <p>(1) 大洲市婦人会事業補助金 700,000円</p> <p>(2) 大洲市PTA連合会事業補助金 450,000円</p> <p>2 補助金交付先の主な活動内容</p> <p>(1) 大洲市婦人会</p> <p>①南予地域婦人教育研修会</p> <p>②女性リーダー研修</p> <p>③会員交流会</p> <p>④機関紙「おおずの婦人」発行</p> <p>⑤福祉事業の推進</p> <p>⑥青少年の体験活動や交流活動</p> <p>⑦家庭教育子育て支援活動</p> <p>⑧地域学校協働活動</p> <p>⑨福祉施設訪問</p> <p>(2) 大洲市PTA連合会</p> <p>①広報誌「PTAおおず」発行</p> <p>②大洲市PTA連合会定期総会</p> <p>③親善レクバレー大会</p> <p>④女性リーダー研修</p> <p>⑤PTAセミナー</p>				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予 算 額	1,462	1,462	1,462	1,250
	決 算 額	1,462	1,375	1,150	1,150
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	100.0%	94.0%	78.7%	92.0%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	1,462	1,375	1,150	1,150
事業の成果	<p>社会教育関係団体である婦人会やPTA連合会の活動を支援し、明るい地域づくりや青少年の健全育成に寄与することができた。</p>				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	<p>会員数の減少や役員のなり手不足、保護者や教職員の働き方や少子化など、時代の変化に合わせた助言等を行い、今後も物心両面での支援が必要である。</p>				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名		文化振興課		係 名	生涯学習係	年度	R7
基 本 目 標		2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興					
基 本 方 針		1 生涯学習の推進					
主 要 施 策		1 社会教育事業の推進					
事 業 名		26 自治会活動支援事業					
目 的		公民館のコミュニティセンター移行に伴い、学級・講座や青少年健全育成事業等の「地域の学び事業」を自治会が主体となって実施することから支援を行う。					
事業実施状況		<p>自治会と市による協働の取組である「地域の学び事業」の支援を行った。</p> <p>1 出前講座や研修会等の情報提供 (1) 県が実施する研修会等への案内 (2) 県や各種団体・企業等から寄せられる出前講座の情報提供</p> <p>2 講師リストの更新 令和8年3月31日現在の登録数 57件</p> <p>3 職員研修会の開催 現地視察 (1) 開催日 令和7年9月18日（木） (2) 内 容 松前町西公民館 eスポーツ交流会見学 (3) 参加者 4名</p> <p>職員研修会（現地研修） (1) 開催日 令和7年9月28日（日） (2) 内 容 「親子でアウトドアカヌー編 平水版」 (3) 参加者 3名</p> <p>コミセン職員研修 (1) 開催日 令和7年12月4日（木） (2) 内 容 「かんたん豆腐ドーナツ作り」 「平野地区の取り組みについて」（コミカフェ見学あり） 情報交換会（過去のイベントや講座など） (3) 参加者 31名</p> <p>4 地域間交流事業 第2回 地域交流モルック大会 (1) 開催日 令和8年3月8日（日） (2) 参加者 43名</p>					
事業年度				R6		R7	
事業費	予 算 額			40		132	
	決 算 額			5		30	
	繰 越 額			0		0	
	執 行 率			12.5%		22.7%	
事業区分				市単独事業		市単独事業	
財 源	国庫補助金			0		0	
	県補助金			0		0	
	地方債			0		0	
	その他特財			0		0	
	一般財源			5		30	
事業の成果		自治会が実施する学級・講座や青少年健全育成事業をはじめとした「地域の学び事業」を円滑に進めるため、出前講座の情報提供や日程調整等を行うとともに、コミュニティセンター職員を対象とした研修会を開催した。また、地域間のつながりを深めることを目的とした地域交流モルック大会の開催など、全ての自治会で順調に事業が展開できたものとする。					
自己評価		所 属 長	○	担 当 者	○		
課題・問題点		令和7年度からはコミュニティセンターへの市正規職員の配置がなくなり、自治会事業のマナー化も懸念されている。引き続き相談への細やかな対応やより多くの情報提供に努める必要がある。					

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化振興課		係 名	生涯学習係	年度	R7
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興					
基 本 方 針	1 生涯学習の推進					
主 要 施 策	1 社会教育事業の推進					
事 業 名	27 学級講座事業					
目 的	地域自治組織再編に伴い廃止となった中央公民館や文化研修センターの事業を継続し、市民の教養の向上、健康の増進等を図るための講座を開催する。					
事業実施状況	<div>1 子ども教室（絵画・英会話・手話） (1) 期 間 令和7年9月20日～12月20日（各6回） (2) 会 場 平コミュニティセンター (3) 受講者 34名</div> <div>2 パソコン教室 (1) 期 間 令和7年7月3日～令和8年3月17日 （9コース・全49回） (2) 会 場 若宮コミュニティセンター (3) 受講者 85名</div> <div>3 女性リーダー研修 (1) 期 日 【第1回】 令和7年11月20日 【第2回】 令和7年12月19日 (2) 会 場 【第1回】 伯方の塩株式会社 大三島工場ほか 【第2回】 大洲市総合福祉センター (3) 受講者 【第1回】 31名 【第2回】 39名</div>					
事業年度				R6	R7	
事業費	予 算 額			2,961	1,499	
	決 算 額			1,114	907	
	繰 越 額			0	0	
	執 行 率			37.6%	60.5%	
事業区分				市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金			0	0	
	県補助金			0	0	
	地 方 債			0	0	
	その他特財			0	0	
	一 般 財 源			1,114	907	
事業の成果	子ども教室やパソコン教室をはじめとした各種教室を開催し、廃止となった中央公民館や文化研修センターの事業の一部を継続することができた。これにより、子どもから大人まで幅広い世代の学びを深めることができた。 令和7年度から参加者の減少によりスマホ教室が廃止となったが、各コミセンで実施できるよう、引き続き調整・仲介を行っている。					
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○		
課題・問題点	科学体験フェスティバルや市民大学など他の事業の準備期間や実施時期と重なっており、夜間や休日の開催も多い。担当する職員の負担軽減も考慮しながら、事業を見直していく必要がある。					

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化振興課	係 名	図書館	年度	R7
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	1 生涯学習の推進				
主 要 施 策	2 図書館・視聴覚センター事業の推進				
事 業 名	28 図書館資料収集整理事業				
目 的	生涯学習の拠点のひとつとして、多様な市民ニーズに対応するため、図書等の資料の充実に努めるとともに、文化遺産としての郷土資料を大切に保存し、郷土への理解の深化と郷土文化の向上に努める。				
事業実施状況	<p>○資料収集状況 (桟山教育振興会助成事業)</p> <p>(1) 図書 購入冊数：大2,983、長675、肱497、河182、計4,337 寄贈冊数：大377（うち、桟山文庫147）、長37、肱31、河12、計457 編入他冊数：大53、長△6、肱0、河△16、計31 廃棄冊数：大4,572、長1,601、肱0、河147、計6,320</p> <p>(2) CD 購入本数：大41、長0、肱0、河0、計41 寄贈本数：大9、長0、肱0、河0、計9 編入他本数：大0、長0、肱0、河0、計0 廃棄本数：大0、長0、肱0、河0、計0</p> <p>(3) DVD 購入本数：大48、長0、肱0、河0、計48 寄贈本数：大0、長0、肱0、河0、計0 編入他本数：大0、長0、肱0、河0、計0 廃棄本数：大0、長0、肱0、河0、計0</p> <p>(4) 年度末蔵書数 ①本館 170,368 ②長浜分館 25,593 ③肱川分館 16,073 ④河辺分館 7,439 計 219,473</p>				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予算額	13,577	13,940	13,940	11,455
	決算額	13,569	13,921	13,900	11,439
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	99.9%	99.9%	99.7%	99.9%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財源	国庫補助金	0	0	0	
	県補助金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他特財	400	400	400	
	一般財源	13,169	13,521	13,500	11,439
事業の成果	市民の要望や蔵書構成バランスを考慮した一般・児童図書の選書購入と郷土資料の収集に努めるとともに、寄贈図書の整理や貴重資料の保存・修繕を行い、市民の広範な学習活動に供することができた。また様々な種類のバリアフリー資料も徐々に収集できてきている。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	収蔵能力を超過しているため、受入資料数を抑えけるとともに、計画的に除籍を行う必要がある。バリアフリー資料の収集には努めているが、実施要領作成など、本格的なサービス提供のための準備ができていない。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化振興課	係 名	図書館	年度	R7
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	1 生涯学習の推進				
主 要 施 策	2 図書館・視聴覚センター事業の推進				
事 業 名	29 読書活動推進事業				
目 的	市民の教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的として事業推進を図る。特に、子供読書活動推進に対する保護者の理解促進を図り、家庭での読み聞かせや読書の重要性を啓発する。				
事業実施状況	<p>○ 主な事業</p> <p>(1) 生涯学習講座（5月～3月：10回） 参加者：延べ177人</p> <p>(2) おはなし会（年間32回） （プラタナスの会、おはなし玉手箱、ビブリオおはなし会、図書館主催おはなし会） 参加者：延べ591人</p> <p>(3) 巡回文庫 コミュニティセンター・施設 4月～2月：5回 小学校・幼稚園・こども園 5月～3月：4回</p> <p>(4) 読書感想文集（令和7年12月） 応募者：105人、入賞者：19人、佳作者：86人</p> <p>(5) 読書感想画展（令和8年1月） 応募者：133人、入賞者：122人、観覧者：764人（大洲）</p> <p>(6) 多読書者表彰（令和8年3月） 低学年：150冊、中学年：100冊、高学年：50冊（ページ数の場合、3～6年生：10,000ページ）、中学生：30冊 応募者：957人</p> <p>(7) うちどく（家読）・ともどく（友読）事業 ①うちどくチャレンジ！努力賞・多読賞表彰（令和8年2月） 努力賞受賞者：100人、多読賞：6人 ②うちどく・ともどくチャレンジ！コンテスト表彰（令和8年2月） 学校への応募総数：家448人、友2人 図書館への応募数（学級3人まで）：家101人、友2人 最優秀賞受賞者：家5人、友1人 優秀賞受賞者：家4人、友1人 佳作者：家19人</p> <p>(8) 大洲市読書活動研究集会（柏木伸介氏講演会）（令和7年11月） 参加者：43名</p>				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予算額	964	903	903	1,219
	決算額	884	810	793	1,047
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	91.7%	89.7%	87.8%	85.9%
事業区分	その他	その他	その他	その他	
財源	国庫補助金	0	0	0	
	県補助金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他特財	0	0	0	
	一般財源	884	810	793	1,047
事業の成果	<p>うちどくの取組が難しい年齢層の子どものために、ともどく（友読）事業を開始した。うちどく事業については、関係施設に協力を呼びかけながら実施を継続している。</p> <p>また、読書活動研究集会を開催し市民の教養を高めることができた。</p>				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	うちどく事業の取組状況については、学校等により大きな差があるため、関係施設に協力を呼びかけるなどの連携強化が必要。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化振興課	係 名	図書館	年度	R7
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	1 生涯学習の推進				
主 要 施 策	2 図書館・視聴覚センター事業の推進				
事 業 名	30 視聴覚教育推進事業				
目 的	視聴覚教材等の整備を図るとともに、学校教育・社会教育の視聴覚教育の発展に寄与する。				
事業実施状況	<p>学校、社会教育施設等で行われる研修や学習会において、効果的な視聴覚教材を提供するため、内子町、大洲市の教諭や社会教育担当職員で構成する大洲市視聴覚センター研究委員会を開催し、購入希望教材を検討・協議するとともに管内での視聴覚教材や、機器の利用状況を把握した。</p> <p>(1) 視聴覚機材及びDVD教材購入 ・DVD教材（人権啓発等）6本</p> <p>(2) 教材等利用状況 ・ビデオ：大洲0件、内子0件 合計0件 ・16mm：大洲10件、内子0件 合計10件 ・DVD：大洲18件、内子3件 合計21件</p>				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予 算 額	483	483	483	483
	決 算 額	407	482	415	433
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	84.3%	99.8%	85.9%	89.6%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	
	県補助金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他特財	0	0	0	
	一般財源	407	482	415	433
事業の成果	視聴覚教材を整備するとともに、利用しやすい環境をつくり、情報化社会に対応したマルチメディア教材の普及に努め、学校教育・社会教育における視聴覚教育の振興に寄与した。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	教材等の利用数が少ないため、利用者の求める資料の収集、周知方法等について検討する必要がある。				

基本方針 4 生涯学習の推進

【外部評価委員意見】

- 大洲市民大学は、これまでにないおもしろい企画であった。聴講された 95% を超える方が「よかった」と満足されていることは、本当に有意義な講演会であったのだと感じた。
- 図書購入費用について、毎年予算獲得に向けて頑張ってください。
- 現在の子供たちの生活スタイルは、スマホやタブレットの使用、またゲームばかりであるので、本を読んだり文字を書いたり、とにかく読書に興味を持ってもらうよう工夫してほしい。

基本方針5 文化・芸術の振興

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化振興課	係 名	文化振興係	年度	R7
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	2 文化・芸術の振興				
主 要 施 策	1 文化・芸術活動の推進				
事 業 名	31 親と子のコンサート事業				
目 的	国内外で活躍する演奏者の音楽を通して、大洲市民の文化・芸術の向上並びに青少年の豊かな感性及び創造力の育成を目的としてコンサートを開催する。				
事業実施状況	<p style="text-align: right;">(桝山教育振興会助成事業)</p> <p>○おおず親と子のコンサート2025 ～中野翔太ピアノ・リサイタル～</p> <p>■実施日時 令和7年11月1日 14時から ■会 場 市民会館大ホール ■演 奏 者 中野翔太 (ピアニスト、株式会社ジャパンアーツ所属) ■来 場 者 231名</p>				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予 算 額	1,500	1,500	1,500	1,500
	決 算 額	1,414	761	1,197	1,050
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	94.3%	50.7%	79.8%	70.0%
事業区分	その他	その他	その他	その他	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	500	500	500	500
	一般財源	914	261	697	550
事業の成果	<p>今回はピアニスト・中野翔太氏によるピアノリサイタルを開催した。坂本龍一の「戦場のメリークリスマス」など、よく知られた楽曲も多く、来場者の中には感涙を浮かべる方もいるなど、満足度の高い内容となった。本リサイタルでは、ヤマハから無償貸与されたグランドピアノ「CFX」による演奏となり、前日には市内のピアノ教室生徒の体験演奏も行われた。</p>				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	演奏者の選定や、コンサートの開催方法などについて検討していく必要がある。ホール内の暖房調整が難しいため、座席位置によって「暑い」「寒い」の意見があり改善が求められる。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化振興課	係 名	文化振興係	年度	R7
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	2 文化・芸術の振興				
主 要 施 策	1 文化・芸術活動の推進				
事 業 名	32 文化・芸術団体活動支援事業				
目 的	文化・芸術団体の活動支援を行うとともに、文化・芸術に対する市民の意識の高揚を図る。				
事業実施状況	<p>市民の文化・芸術に対する意識の高揚を図るため、文化・芸術活動を実施している団体に対し、事業運営補助として支援を実施した。</p> <p>1 文化・芸術団体への活動補助 ■補助実績 4団体 1,717千円 ・柳沢げんじぼたる保存会 120千円 ・大洲市文化協会 1,275千円 ・大洲史談会 161千円 ・長浜史談会 161千円</p> <p>2 ながはま赤橋俳句大会 広く投句を募集し、応募された句を選句し、結果を発表した。</p> <p>3 大洲少年少女合唱団活動支援（桝山教育振興会助成事業） 令和6年度から桝山教育振興会助成金の申請を再開され、音楽祭や、コミュニティセンターでのミニコンサートを開催するなどの活動を行った。</p>				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予 算 額	3,136	3,219	3,082	3,139
	決 算 額	2,347	2,699	2,223	2,359
	繰 越 額				
	執 行 率	74.8%	83.8%	72.1%	75.2%
事業区分	その他	その他	その他	その他	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	2,347	2,699	2,223	2,359
事業の成果	芸能祭・音楽祭・郷土芸能発表会のほか、各種作品展示会、史談会の例会や講演会なども活発に実施され、多くの参加者を得ることができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	各種団体の構成員の高齢化により、団体数が減少しつつあるため、伝統文化を継承していくための方策を検討の必要性が高まっている。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名		文化振興課		係 名	文化振興係	年度	R7
基 本 目 標		2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興					
基 本 方 針		2 文化・芸術の振興					
主 要 施 策		1 文化・芸術活動の推進					
事 業 名		33 大洲市史編纂事業					
目 的		合併20周年を契機として、旧誌の内容を分析し見直すとともに、可能な限り関係する資料を調査し、大洲が培ってきた文化・風土を研究し、『大洲市史』を編纂・発行する。					
事業実施状況		<p>市内外の有識者等により構成された「市史準備委員会」を「市史編纂委員会」に移行し、各編(各部会)委員の代表者による「編集委員会」、並びに各専門部会を設けた。市史編纂委員会では、準備委員会で審議した「基本方針(案)」を可決した。</p> <p>1 市史編纂委員会 (委員11名。委員長 徳永副市長) 第1回編纂委員会 9月16日(火)</p> <p>2 市史編集委員会 (委員5名。委員長 芳我明彦氏) 第1回編集委員会 9月16日(火)</p> <p>3 専門部会 (1) 古代部会 (委員6名、部会長 寺内 浩 氏) 第1回古代部会 1月21日(水)</p> <p>(2) 中世部会 (委員6名、部会長 山内 譲 氏) 第1回中世部会 1月21日(水)</p> <p>(3) 近世部会 (委員11名、部会長 胡 光 氏) 第1回近世部会 1月15日(木)</p> <p>(4) 近代部会 (委員9名、部会長 大本敬久 氏) 第1回近代部会 1月15日(木)</p> <p>(5) 現代部会 (委員12名、部会長 徳永副市長) 第1回現代部会 10月21日(火) 第2回現代部会 1月19日(月)</p>					
事業年度				R6		R7	
事業費	予 算 額			251		876	
	決 算 額			56		353	
	繰 越 額						
	執 行 率			22.3%		40.3%	
事業区分				その他		その他	
財 源	国庫補助金			0		0	
	県補助金			0		0	
	地方債			0		0	
	その他特財			0		0	
	一般財源			56		353	
事業の成果		市史編纂委員会において、「基本方針(案)」が可決され、課内協議で練り上げた各編の項目案を編集委員会、各部会において協議の上、微調整を行い、執筆分担を決めた。この項目を基に、今後執筆に伴う委員の調査などに対応するとともに、関係資料調査・情報の収集にあたる。					
自己評価		所 属 長	○	担 当 者	○		
課題・問題点		市史の記述にあたっては、読みやすさに考慮するとともに、根拠史料や引用文献の明示などを行い、今後の研究や学習などに対応できるものとする必要がある。広報などを通して、広く市民に情報を求め、資料提供を求める必要がある。					

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化振興課	係 名	文化振興係	年度	R7
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	2 文化・芸術の振興				
主 要 施 策	2 文化財の保存と活用				
事 業 名	34 文化財保存活用及び顕彰事業				
目 的	文化財の保存・活用などに関する指導・支援を行うとともに、見学会などを開催することで市民の文化財への関心と愛護精神の高揚を図る。				
事業実施状況	<p>1 臥龍山荘庭園管理事業の推進 ■技術指導 令和7年7月10日、令和8年1月29日</p> <p>2 「大洲城跡」石垣保存修復事業の推進（都市整備課共同事業） ■二の丸北曲輪（石垣D-1箇所）の石垣修理工事実施 ■大洲城跡石垣保存修復委員会 令和7年4月21日、令和8年2月25日</p> <p>3 大洲市埋蔵文化財センター管理及び出土遺物整理の充実</p> <p>4 大洲市文化財保護事業補助金の交付 ■申請件数 4件 ■交付決定額 873千円 ・国重文「如法寺仏殿」防災設備保守点検事業 318千円 ・市天然「藤縄三島神社社叢」整理事業 110千円 ・市天然「西方寺のオハツキイチョウ」剪定事業 114千円 ・市天然「八多喜のイチョウ」剪定事業 331千円</p>				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予 算 額	21,476	13,698	13,317	14,617
	決 算 額	15,650	10,991	10,074	11,095
	繰 越 額	0	0	0	
	執 行 率	72.9%	80.2%	75.6%	75.9%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	1,148	1,539	0	0
	県補助金	484	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	14,018	9,452	10,074	11,095
事業の成果	「大洲城跡」石垣保存修復事業では、石垣D-1箇所の石垣積直し工事に着手し、約90%まで積直しを終えることができた。また、指定文化財4件に対して補助金を交付することで、文化財の保護を適切に図ることができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	文化財の普及啓発を図るとともに、文化財への関心をより高めるための見学会や講演会などを積極的に実施していく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化振興課	係 名	文化振興係	年度	R7
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	2 文化・芸術の振興				
主 要 施 策	2 文化財の保存と活用				
事 業 名	35 名勝臥龍山荘庭園保存整備事業				
目 的	国指定名勝「臥龍山荘庭園」の適切な保存を図っていくため、令和6年3月に策定した「名勝臥龍山荘庭園保存活用計画」に基づいて、国庫補助事業により整備事業を実施する。				
事業実施状況	<p>1 路次門修復工事 庭園内に入る潜り門で、近年、損傷が著しくなったことから製作技術や材質等を調査しながら解体を行い、全面的な修理工事を実施した。</p> <p>2 植栽整備工事 臥龍山荘内の建物周りの樹木が繁茂し、倒木あるいは落枝により来園者及び建物に影響を及ぼす危険性があることから、高木類を中心とした剪定等の植栽整備工事を実施した。</p> <p>3 石造物修復工事 庭園内の石灯籠や手水鉢などの石造物に損傷が見られることから、計6基の石造物について修理工事を実施した。</p> <p>■工事期間 ・路次門修復工事：令和7年6月～令和8年1月 ・植栽整備工事：令和8年1月～令和8年3月 ・石造物修復工事：令和8年1月～令和8年3月</p> <p>■現地指導 ・令和7年7月11日 文化庁調査官・県文化財保護課担当官 ・令和8年3月16日 県文化財保護課担当官</p>				
事業年度					R7
事業費	予 算 額				2,181
	決 算 額				2,128
	繰 越 額				
	執 行 率				97.6%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業
財 源	国庫補助金				1,063
	県補助金				0
	地方債				0
	その他特財				0
	一般財源				1,065
事業の成果	景観を悪化させていた箇所や施設管理上支障が生じていた箇所の改善が図られ、国指定名勝としての適切な保存整備ができた。				
自己評価	所 属 長	◎	担 当 者	◎	
課題・問題点	「名勝臥龍山荘庭園保存活用計画」に基づいて、今後も保存整備事業を継続的に実施していく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名		文化振興課		係 名	文化振興係		年度	R7
基 本 目 標		2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興						
基 本 方 針		2 文化・芸術の振興						
主 要 施 策		2 文化財の保存と活用						
事 業 名		36 民俗芸能保存団体活動支援事業						
目 的		各地域における民俗芸能保存団体活動の支援と、地域に根付いた歴史・伝統・文化の伝承を図る。						
事業実施状況		1 無形文化財・無形民俗文化財に指定されている団体への活動補助 ■補助実績 5 団体 886千円 ・主馬神伝流保存会 400千円 ・藤縄神楽保存会 242千円 ・上須戒相撲甚句保存会 0千円※R7活動縮小 ・伊予長浜豊年踊り保存会 80千円 ・豊茂五ツ鹿踊り保存会 0千円※R7活動休止 ・大谷文楽保存会 100千円 ・山鳥坂鎮縄神楽保存会 64千円 2 大洲神伝流保存会日本泳法大会出場事業（桝山教育振興会助成事業） ■第70回日本泳法大会（習志野市） 開催日 令和7年8月23、24日						
事業年度		R4		R5		R6		R7
事業費	予 算 額	1,325		1,109		1,159		1,259
	決 算 額	967		1,086		1,136		1,186
	繰 越 額	0		0		0		0
	執 行 率	73.0%		97.9%		98.0%		94.2%
事業区分		その他		その他		その他		その他
財 源	国庫補助金	0		0		0		0
	県補助金	0		0		0		0
	地方債	0		0		0		0
	その他特財	181		200		200		300
	一般財源	786		886		936		886
事業の成果		地域に根付いた歴史・伝統・文化の継承活動に対する財政的支援を行い、主馬神伝流保存会では、千葉で行われた泳法大会には小・中・高生を含む後継者9名の参加があり、競技決勝に残る成績を上げるなど、後継者育成に資する事ができた。						
自己評価		所 属 長	○	担 当 者	○			
課題・問題点		各団体ともに若手後継者の育成に努めているところであるが、構成員の高齢化も進んでおり、活動内容の維持に支障を来しつつある。						

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化振興課	係 名	文化振興係	年度	R7
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	2 文化・芸術の振興				
主 要 施 策	3 文化財調査の実施				
事 業 名	37 指定文化財見直し事業				
目 的	指定文化財について、専門家による学術的な再調査を実施することで文化財的価値を明確にし、新たな文化財の発見や指定解除の判断材料とする。				
事業実施状況	<p>市内に所在する指定文化財2件と未指定文化財2件の調査を実施した。</p> <p>また、未指定の有形文化財（絵画・歴史資料・民俗）4件について、新たな指定候補物件として検討を行った。</p> <p>■調査物件 4件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・史跡（指定） 2件（馬場ノナル遺跡、汗生城跡） ・史跡（未指定） 2件（菅田城跡、滝ノ城跡） 				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予算額	183	183	190	192
	決算額	15	30	30	9
	繰越額	0	0	0	
	執行率	8.2%	16.4%	15.8%	4.7%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	15	30	30	9
事業の成果	本調査により、文化財の指定、解除の判断材料となる資料を蓄積することができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	特に有形文化財の絵画、歴史資料、彫刻などの分野について、専門家を招聘して調査を進めていく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化振興課	係 名	文化振興係	年度	R7
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	2 文化・芸術の振興				
主 要 施 策	3 文化財調査の実施				
事 業 名	38 市内遺跡確認調査事業				
目 的	大洲市内に所在する重要遺跡について調査事業を実施する。本市の遺跡として特徴的な中世城館跡や弥生時代遺跡を対象に調査を実施する。				
事業実施状況	<p>1 中世城郭跡調査 汗生城跡・菅田城跡・滝ノ城跡・信尾城跡・祖母井城跡に加え、新たに発見された城跡2件について、試掘調査や縄張図の作成などを行った。</p> <p>2 弥生時代遺跡調査 村島宮の首遺跡・都谷遺跡について試掘調査を実施するとともに出土遺物の整理作業を進めた。 また、村島宮の首遺跡では小中学生を対象とした遺跡発掘体験会を開催した。</p> <p>■現地指導 令和8年2月16日、3月16日 元県文化財保護課担当官</p> <p>■遺跡発掘体験会 日 時 令和8年8月2日 午前・午後 会 場 村島宮の首遺跡 参加者 14名</p>				
		R5	R6	R7	
事業費	予 算 額	3,862	5,199	3,190	4,636
	決 算 額	3,175	4,781	2,935	4,365
	繰 越 額	0	0	0	
	執 行 率	82.2%	92.0%	92.0%	94.2%
事業区分	補助事業	補助事業	補助事業	補助事業	
財 源	国庫補助金	1,540	2,390	1,460	2,182
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	1,635	2,391	1,475	2,183
事業の成果	中世城郭跡調査では新たに城跡2件を発見するなどの成果があった。弥生時代遺跡調査では村島宮の首遺跡で遺跡発掘体験会を開催し遺跡の重要性を広く周知することができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	中世城館跡調査、弥生時代遺跡調査は継続して調査を推進するとともに、これまでに発見された出土品の整理作業、成果をまとめた調査報告書の作成が課題である。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化振興課	係 名	文化振興係	年度	R7
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	2 文化・芸術の振興				
主 要 施 策	3 文化財調査の実施				
事 業 名	39 郷土の先哲顕彰事業				
目 的	<p>市民や子供たちに「ふるさとを愛する心」を育成する手段として、5か年計画で大洲市出身者又は大洲市にゆかりの深い人の功績などを紹介することで、市民のふるさと意識の高揚を図る。</p> <p>なお、2年目の今年度は新谷出身の池田貫兵衛と河内寅次郎に焦点を当てた事業を展開する。</p>				
事業実施状況	<p>神戸を拠点にお茶・樟腦の貿易を行った池田貫兵衛と、貫兵衛と共に木蠟の貿易を行った河内寅次郎に焦点を当てた事業を実施した。</p> <p>■特別展の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別展「池田貫兵衛と河内寅次郎」 ・開催期間 令和7年10月10日（土）～令和8年1月18日（日） ・展示解説会 10月19日（日）、12月14日（日） ・来場者数 489名 <p>■池田貫兵衛と河内寅次郎顕彰巡回展・学習会の実施</p> <p>【巡回パネル展】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催期間 令和7年10月～令和8年2月 ・参加学校数 13校 <p>【出前学習会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催期間 令和7年11月～令和8年2月 ・参加学校数 8校 				
				R6	R7
事業費	予 算 額			1,313	1,114
	決 算 額			1,055	955
	繰 越 額			0	0
	執 行 率			80.4%	85.7%
事業区分				補助事業	補助事業
財 源	国庫補助金			0	
	県補助金			0	
	地方債			0	
	その他特財			0	
	一般財源			1,055	955
事業の成果		<p>特別展開催により、多くの市民に池田貫兵衛と河内寅次郎の功績について紹介するとともに、小中学校への出前授業を通して、文明開化が花開く日本において、大洲出身者である池田貫兵衛と河内寅次郎が貿易業で活躍していたことを紹介することができた。</p>			
自己評価		所 属 長	○	担 当 者	○
課題・問題点		<p>小中学校への出前授業にあたって、人物の活躍した時代背景なども踏まえ、もう少し分かりやすい内容に取り組む必要がある。</p>			

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名		文化振興課		係 名	文化振興係		年度	R7
基 本 目 標		2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興						
基 本 方 針		2 文化・芸術の振興						
主 要 施 策		4 博物館事業の推進						
事 業 名		40 博物館資料収集整理事業						
目 的		大洲市に関係する資料の調査・収集に努めるとともに、企画・特設展の開催に伴う資料調査を実施する。 収蔵資料の整理、目録を作成するとともに、収蔵品管理システムへの登録を行うことで、利用者が利用しやすい環境を整える。						
事業実施状況		1 収蔵資料 ■購入10件 ・「鈴木松年画柳下馬図」 ・「加藤文麗画布袋図」 ・「文景画十二景図」 ・「上田久太郎書簡」 ・「大洲領古城附写」 ・「大洲城下武家屋敷図」 ・「若宮養徳画馬図」 ・「香渡晋送別之詩」 ・「矢野玄道五言絶句書」 ・「堀沢周安筆詩」 ■寄贈9件 ・岡本囀良薙刀 ・長浜港ニ関スル書類 ・地券 ・新谷コミュニティセンター資料 ・平野村領収証関係 ・騎馬武者人形 ・西尾氏寄贈資料 ・岡本氏寄贈資料 ・山内寿延日記 ■寄託1件 ・いろは丸契約書 2 収蔵品管理システム「I. B. MUSEUM」を活用し、収蔵品管理の効率化を図り、資料調査者へ検索システムを提供した。 ■利用件数 42件						
事業年度		R4		R5		R6		R7
事業費	予 算 額	1,653		1,669		1,711		1,726
	決 算 額	1,619		1,281		1,632		1,675
	繰 越 額	0		0		0		0
	執 行 率	97.9%		76.8%		95.4%		97.0%
事業区分		市単独事業		市単独事業		市単独事業		市単独事業
財 源	国庫補助金	0		0		0		
	県補助金	0		0		0		
	地方債	0		0		0		
	その他特財	0		0		0		
	一般財源	1,619		1,281		1,632		1,675
事業の成果		大洲市に関する資料の収集に努めた。特に山内寿延日記は、太平洋戦争時の貴重な記録もあり市誌等にも活用が図れる史料である。また、常設展での活用を図ることができた。また、収蔵資料について、収蔵システムへの登録も随時行うことができた。						
自己評価		所 属 長	○	担 当 者	○			
課題・問題点		収蔵資料の増加により収蔵庫が手狭となっており、資料の受け入れ方法について検討していく必要がある。						

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化振興課	係 名	文化振興係	年度	R7
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	2 文化・芸術の振興				
主 要 施 策	4 博物館事業の推進				
事 業 名	41 展示活動事業				
目 的	魅力的な企画・特別展・特設展の開催に努めるとともに、歴史・民俗・自然など、常設展の充実を図る。また、市民ギャラリーなどを開催し、特別展示室の有効活用を図る。				
事業実施状況	1 大洲市立博物館（入館者 5,799人） 2 主な展示活動 ■企画展（4階展示室） 「新収蔵品展」 令和7年4月26日～6月29日 「長浜の今昔物語展」 令和7年7月15日～9月15日 「お雛さま展」 令和8年2月10日～4月5日 ■市民ギャラリー（5階特別展示室） 「大洲ゆかりの芸術家展」 令和7年4月26日～5月25日 「四国八十八ヶ所スケッチ展」 令和7年6月21日～8月3日 「藤樹まつり児童生徒作品展」 令和7年10月17日～11月16日 「市民文化祭 大洲文化展」 令和7年11月22日～11月29日 「小学校理科自由研究作品展」 令和7年12月10日～令和8年1月6日 「第1回大洲美術展」 令和8年1月20日～2月26日 「鉄道模型運転会」 令和8年3月28日・4月5日				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予 算 額	347	239	482	677
	決 算 額	208	198	434	644
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	59.9%	82.8%	90.0%	95.1%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	
	県補助金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他特財	0	0	0	
	一般財源	208	198	434	644
事業の成果	湊町長浜の歴史を見直す展示を開催したことで、多くの市民に長浜の歴史と先人を広く紹介することができた。 また、様々な市民ギャラリーを開催することで、特別展示室の有効活用を図ることができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	展示内容等が分かりやすく市民に伝わるよう、展示構成や解説などについて工夫を行っていく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名		文化振興課		係 名	文化振興係		年度	R7
基 本 目 標		2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興						
基 本 方 針		2 文化・芸術の振興						
主 要 施 策		4 博物館事業の推進						
事 業 名		42 教育活動事業						
目 的		一般市民や小学生を対象とした教室・講座などを開設するとともに、博物館報を発行し、生涯学習の機会や情報の提供を行う。						
事業実施状況		<div>1 ふるさと見聞講座（生涯学習講座） ■対象者 一般市民(成人) ■開講実績 8回 ■参加人数 210人</div> <div>2 大洲歴史文化教室（樹山教育振興会助成事業） ■対象者 小学4・5・6年生 ■開催実績 6回 ■参加人数 95人</div> <div>3 大洲自然科学教室（樹山教育振興会助成事業） ■対象者 小学4・5・6年生 ■開催実績 7回 ■参加人数 182人</div> <div>4 史談会活動の支援 大洲の歴史・地理・文化・産業などに関する調査・研究を行う大洲史談会に対し て事業の活動支援を行った。</div> <div>5 学校教育との連携 ■中学校職場体験 ・新谷中学校 令和7年7月1日～4日 ■大学博物館実習 ・八洲学園大学 令和8年1月9日～15日 ■小学校授業サポート ・喜多小学校 令和7年6月13日 令和8年1月20日 ・大洲小学校 令和8年2月20日 ・平野小学校 令和8年3月4日 ・大洲北中学校 令和7年12月16日 ■小・中学校教育研修 ・小学校社会科及び総合的な学習の時間研究会夏季研修会 令和7年7月30日 ・中学校社会科研究会夏季研修会 令和7年7月29日 ・大洲高等学校地歴科教員研修 令和8年1月7日</div> <div>6 博物館報の発行 博物館報第26号（令和7年6月）の発行を行った。</div>						
事業年度		R4		R5		R6		R7
事業費	予 算 額	1,620		1,500		1,568		1,773
	決 算 額	1,520		1,457		1,535		1,688
	繰 越 額	0		0		0		0
	執 行 率	93.8%		97.1%		97.9%		95.2%
事業区分		その他		その他		その他		その他
財 源	国庫補助金	0		0		0		
	県補助金	0		0		0		
	地方債	0		0		0		
	その他特財	900		900		0		
	一般財源	620		557		1,535		1,688
事業の成果		一般市民や小学生を対象とした講座・教室を開設することで、生涯学習の機会を提供することができた。また、博物館資料を活用した社会科・生活科・総合的な時間における研修会を担当することで、学校との連携を図ることができた。						
自己評価		所 属 長	○	担 当 者	○			
課題・問題点		博物館が収蔵する豊富な資料を教育資源として有効活用していくために、学校へ情報提供を行うだけでなく、学校をはじめ関係機関と綿密な連携を図っていく必要がある。						

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化振興課	係 名	文化振興係	年度	R7
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	2 文化・芸術の振興				
主 要 施 策	4 博物館事業の推進				
事 業 名	43 博物館等施設再編の検討				
目 的	<p>市内博物館等施設は、建築後40年を越える施設もあり老朽化が著しく進んでいる。また、収蔵庫についても飽和状態となっており、改修又は建替えなどについて検討する必要性が生じている。</p> <p>このことから、現状を調査し課題等を整理し大洲市全体の博物館等施設の根本的な役割及び必要性及び方針を検討する。</p>				
事業実施状況	<p>今後博物館等施設の方角性を導き出すため、大洲市全体の博物館等施設の再編整備について、課内で取りまとめた案をもとに庁内関係部署と協議及び意見交換を行った。</p> <p>また、検討において、大洲市と技術連携協定を締結している「株式会社エイト日本技術開発」から他の自治体の事例の紹介や、一般的な考え方などについての意見を受けた。</p>				
事業年度		R5	R6	R7	
事業費	予 算 額	0	0	0	0
	決 算 額	0	0	0	0
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率				
事業区分		その他	その他	その他	
財 源	国庫補助金	0	0		
	県補助金	0	0		
	地方債	0	0		
	その他特財	0	0		
	一般財源	0	0		0
事業の成果	<p>市内博物館施設の現状や課題から今後の方向性などについて、文化振興課内での検討内容を基に、庁内関係部署との協議を行い、今後の進め方について意見集約を図った。</p>				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	<p>引き続き、博物館及び担当課内のほか関係部署などを含めた、新たな博物館についての方向性を協議する必要がある。</p>				

基本方針 5 文化・芸術の振興

【外部評価委員意見】

- 郷土の先哲顕彰事業について、ふるさと大洲のよさを子供たちや地域の人
が知ることは大切なことなので、いろいろな分野の人物を取り上げ、どんど
ん教え広めてほしい。
- 地域の活動もしかり、文化・芸術団体数もだんだんと少なくなっている
ので、活動も難しくなっていると思う。現在の活動基盤を維持していくた
め、英知を結集して取り組み、今後ますます発展・継承していったほしい。

基本方針6 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	スポーツ振興課	係 名	スポーツ推進係	年度	R7
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	3 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主 要 施 策	1 スポーツ振興の総合的かつ計画的な推進				
事 業 名	44 大洲市スポーツ推進計画見直し事業				
目 的	令和2年3月に策定した「大洲市スポーツ推進計画」は、令和6年度までを計画期間としていたが、市総合計画、国・県の推進計画との整合性を図るため、現行計画期間を令和8年度まで2年間延長し各施策を推進する。				
事業実施状況	<p>1 スポーツ機運の定着と地域振興 大洲市公式HP、LINEを活用した情報発信</p> <p>2 スポーツ参画人口の拡大 (1) ラケットテニスの普及促進 ・定期開催 5地区（平、沖浦、白滝、豊茂、大和） ・ラケットテニス大会の開催 大洲市ラケットテニス大会 令和7年11月30日（6チーム41人）</p> <p>3 スポーツ環境の充実と競技スポーツの発展 (1) 総合型地域スポーツクラブの情報収集 愛媛県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会において意見交換 (2) スポーツ表彰制度の充実 ・懸垂幕の掲出 29件 ・全国大会等出場激励金の交付 140人</p> <p>4 スポーツを通じた交流の促進と地域活性化 (1) 「愛媛オレンジバイキングス」バスケットボール教室の開催 ・令和7年11月15日（参加者29人）</p>				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予算額	621	747	3,870	3,064
	決算額	689	581	2,580	2,669
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	111.0%	77.8%	66.7%	87.1%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	689	581	2,580	2,669
事業の成果	<p>「大洲市スポーツ推進計画」の各施策の推進は、各項目の数値目標の達成に向け、関係団体と連携しながら、スポーツイベント等を実施した。</p> <p>また、全国規模の大会へ出場や、特に顕著な成績を収めた個人・団体に対して、懸垂幕の掲出や激励金の交付など、その功績と栄誉を広く市民に周知した。</p>				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	市民の健康増進やコミュニティ形成を目的として、ニュースポーツ、プロスポーツを活用した地域活性化に向けた取組を検討する必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	スポーツ振興課	係 名	スポーツ推進係	年度	R7
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	3 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主 要 施 策	1 スポーツ振興の総合的かつ計画的な推進				
事 業 名	45 健康寿命延伸事業				
目 的	市民の心身の健康維持と体力向上、かつ介護予防のための運動習慣の定着を図るため、コミュニティセンターや総合体育館において、軽度な運動やスポーツを自主的に行うことができる体操教室等を開催した。				
事業実施状況	<p>1 「いきいき百歳体操」の普及促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施団体 3 コミュニティセンター（久米、豊茂、白滝） ・参加者 688人 <p>2 総合体育館における体操教室の開催</p> <p>通年実施の要望を踏まえ、実施回数を増やすとともに、複数の教室を開催することで受入人数の拡大を図った。</p> <p>参加者負担金（5,000円/年×170人）の徴収</p> <p>(1) バランスボール教室（毎週土曜日）</p> <ul style="list-style-type: none"> 【1部】45回 参加者38人 【2部】45回 参加者33人 <p>(2) からだすっきり体操(第1・3木曜日)</p> <ul style="list-style-type: none"> 【前期】22回 参加者27人 【後期】22回 参加者31人 <p>(3) ステップエクササイズ教室(第2・4木曜日)</p> <ul style="list-style-type: none"> 【前期】22回 参加者20人 【後期】22回 参加者21人 				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予 算 額	360	240	640	993
	決 算 額	240	175	580	936
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	66.7%	72.9%	90.6%	94.3%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	850
	一般財源	240	175	580	86
事業の成果	<p>これまで抽選により参加希望者を断らざるを得ない状況があったが、受入人数の拡大により、多くの希望者が参加できるようになり、利用者から好評を得ている。</p> <p>総合体育館の体操教室等は、参加者アンケートで高い評価を得ており、生活の維持・体力向上に貢献した。</p>				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	指導者が固定化しているため、提供できる内容が限定される傾向にある。持続的に開催し、利用者ニーズに応じた多様なメニューを提供するためには、新たな指導者の確保や活動内容の充実が課題である。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	スポーツ振興課	係 名	スポーツ推進係	年度	R7
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	3 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主 要 施 策	2 スポーツイベントの充実と開催				
事 業 名	46 大洲市カヌーツーリング駅伝大会				
目 的	郷土の母なる川「肱川」の自然に親しむことにより、「川」を大切にする意識の高揚を図るとともに、カヌーの普及と生涯スポーツの振興に資する。				
事業実施状況	○大洲市カヌーツーリング駅伝大会 ・実施日時 令和7年8月17日 午前9時～ ・コース 肱川カヌーコース (肱川橋下河川敷⇄肱南ピクニックランド河原) ・参加者 217人 (34チーム)				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予算額	712	712	712	712
	決算額	444	712	712	712
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	62.4%	100.0%	100.0%	100.0%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	444	712	712	712
事業の成果	一般クラスにおいて、初心者向けの「エンジョイコース」と経験者向けの「チャレンジコース」を新たに設けることで、参加者のレベルに応じたニーズに対応することができた。また、暑さ対策としてミストファンを設置するなど、安全対策を講じながら事業を実施し、安心して参加できる環境づくりとカヌーの普及促進につなげることができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	参加者が安全・安心に参加できるよう魅力ある競技内容等を検討していく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	スポーツ振興課	係 名	スポーツ推進係	年度	R7
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	3 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主 要 施 策	2 スポーツイベントの充実と開催				
事 業 名	47 大洲市駅伝大会				
目 的	大会参加チームの相互交流を深めるとともに、駅伝の普及に努める。 また、市民の健康づくり・体力づくりに対する意識高揚及び活性化を図る。				
事業実施状況	○大洲市駅伝大会 ・実施日時 令和7年11月23日 午前9時30分～ ・コース 若宮堤防折り返しコース (若宮堤防⇄喜多小学校) ・参加者 256人 (38チーム)				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予 算 額	813	813	813	813
	決 算 額	604	813	813	813
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	74.3%	100.0%	100.0%	100.0%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	604	813	813	813
事業の成果	喜多小学校を起点として若宮堤防上を折り返す周回コースで開催した。参加者の相互交流を深めるとともに、市民の健康づくり・体力づくりに対する意識高揚及び活性化を図ることができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	参加者が減少傾向にあることから、魅力ある新コースで開催するなど、検討する必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	スポーツ振興課	係 名	スポーツ推進係	年度	R7
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	3 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主 要 施 策	2 スポーツイベントの充実と開催				
事 業 名	48 大洲市健康マラソン大会				
目 的	市民の日常的な運動習慣の促進、体力の向上及び健康の増進を図り、明るく豊かな市民生活の実現を目指す。				
事業実施状況	<p>○大洲市健康マラソン大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日時 令和8年2月22日 午前9時20分～ ・コース 若宮堤防折り返しコース (喜多小学校⇄防災センター) ・参加者 299人 				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予算額	899	899	899	899
	決算額	899	533	899	899
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	100.0%	59.3%	100.0%	100.0%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	899	533	899	899
事業の成果	喜多小学校を起点として若宮堤防上を折り返す周回コースで開催した。安全・安心な大会運営により、市民一人一人が達成感と楽しさを感じる大会となった。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	参加者がより積極的に参加したくなる魅力ある競技内容等を検討していく必要がある。また、年々従事者が減少しているため、運営方法の見直しが必要である。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	スポーツ振興課	係 名	スポーツ推進係	年度	R7
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	3 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主 要 施 策	3 地域スポーツの推進				
事 業 名	49 各地区スポーツ・レクリエーション活動充実事業				
目 的	生涯スポーツ事業の推進と、余暇を活用したレクリエーション活動の振興を図る。また、スポーツ行事やレクリエーション活動などにより、地域住民の健康・体力づくりと親睦を深める機会の提供を行う。				
事業実施状況	各地区におけるスポーツ行事やレクリエーション活動等について、地域スポーツ協会、スポーツ推進委員と連携して、誰もが気軽に参加でき楽しめる様々な活動を行い、地域住民の健康・体力づくりと親睦を深める機会の提供、体制づくりに努めた。				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予 算 額	1,991	1,565	988	1,010
	決 算 額	1,000	743	569	889
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	50.2%	47.5%	57.6%	88.0%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	1,000	743	569	889
事業の成果	市民の健康・体力づくり、参加者間の交流、地域連帯の意識の高揚等により、地域コミュニティの活性化を図った。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	地域のスポーツ行事は、参加者の高齢化、参加者の固定化等が懸念されていることから、少人数や高齢者等でも楽しめる種目や教室等の情報提供・発信が必要である。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	スポーツ振興課	係 名	スポーツ推進係	年度	R7
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	3 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主 要 施 策	3 地域スポーツの推進				
事 業 名	50 スポーツ推進委員育成事業				
目 的	スポーツ推進委員の資質向上と相互交流を推進するため、各種研修会などへの参加、各種スポーツイベント協力、各地区スポーツ・レクリエーション活動の推進を図る。				
事業実施状況	<p>スポーツ推進委員は、スポーツ基本法に基づき設置されるもので、本市では29人に委嘱しており、地域におけるスポーツ活動の振興のため、市民に対するスポーツの普及・啓発、指導・助言のほか、各種スポーツ大会に係る連絡調整を行っている。</p> <p>1 各種研修会等への参加</p> <p>(1) 大洲市スポーツ推進委員会総会 (4月25日 16人)</p> <p>(2) 愛媛県スポーツ推進委員協議会総会 (5月24日 7人)</p> <p>(3) 地区別スポーツ推進委員等研修会 (6月21日 6人)</p> <p>(4) 四国地区スポーツ推進委員研修会 (1月24、25日 3人)</p> <p>2 各種スポーツイベントの協力</p> <p>(1) 大洲市カヌーツーリング駅伝大会 (8月17日 15人)</p> <p>(2) 大洲市駅伝大会 (11月23日 7人)</p> <p>(3) 大洲市健康マラソン大会 (2月22日 9人)</p>				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予算額	1,354	1,639	1,026	1,254
	決算額	1,259	1,297	928	1,254
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	93.0%	79.1%	90.4%	100.0%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	1,259	1,297	928	1,254
事業の成果	愛媛県、関連団体が主催する研修会等への参加、大洲市のイベントへの協力を含め、地域が実施するスポーツイベントへの連携・協力等に積極的に参加し、スポーツの推進を図ることができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	スポーツ推進委員が、地域スポーツにより関わりやすくなるよう住民に対して制度の周知を行うとともに、自治会、地域スポーツ協会等と連携・協力し、地域での活躍の場の整備を図っていく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	スポーツ振興課		係 名	スポーツ推進係		年度	R7
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興						
基 本 方 針	3 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進						
主 要 施 策	3 地域スポーツの推進						
事 業 名	51 体育施設活用事業						
目 的	社会体育を通じて地域コミュニティづくりを推進するとともに、学校体育施設、社会体育施設等の利用促進を図る。						
事 業 実 施 状 況	1 学校体育施設の利用状況						
	(1) 屋内運動場			(2) 屋外運動場			
	大洲地域	15校	88,246人	大洲地域	13校	49,182人	
	長浜地域	2校	6,240人	長浜地域	2校	3,207人	
	肱川地域	2校	1,177人	肱川地域	2校	0人	
	河辺地域	1校	0人	河辺地域	1校	0人	
	計	20校	95,663人	計	18校	52,389人	
	2 社会体育施設の利用状況						
	(1) 体育館			(2) 屋外施設			
	大洲地域	6施設	91,643人	大洲地域	10施設	41,029人	
長浜地域	9施設	35,048人	長浜地域	9施設	9,639人		
肱川地域	4施設	7,134人	肱川地域	8施設	6,802人		
河辺地域	1施設	1,984人	河辺地域	3施設	1,784人		
計	20施設	135,809人	計	30施設	59,254人		
3 えひめ施設利用予約システムの導入							
公共施設の予約手続きがオンラインで可能となる「えひめ施設利用予約システム」によって、予約状況の可視化、業務負担の軽減、管理の効率化、利用率の向上を図った。							
事 業 年 度		R4		R5		R6	R7
事業費	予 算 額	1,325		1,056		1,176	0
	決 算 額	1,174		876		1,176	0
	繰 越 額	0		0		0	0
	執 行 率	88.6%		83.0%		100.0%	
事 業 区 分		市単独事業		市単独事業		市単独事業	市単独事業
財 源	国庫補助金	0		0		0	0
	県補助金	0		0		0	0
	地 方 債	0		0		0	0
	そ の 他 特 財	0		0		0	0
	一 般 財 源	1,174		876		1,176	0
事 業 の 成 果		スポーツ施設の利用状況は、鍵の管理人を廃止して、スマートロックやキーボックスによる利用の簡易化を図り、予約システム導入による予約のしやすさ、利用状況の可視化などから利用率が増加した。					
自 己 評 価		所 属 長	○	担 当 者	○		
課 題 ・ 問 題 点		老朽化等により施設の使用に支障がある施設は、利用状況等から優先順位を決め、安全・安心に利用できるよう改修・修繕を実施する必要がある。 雨漏り等の修繕で多額の費用を要する場合は、施設の在り方、存続も含め検討する必要がある。					

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	スポーツ振興課	係 名	スポーツ推進係	年度	R7
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	3 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主 要 施 策	3 地域スポーツの推進				
事 業 名	52 地域スポーツクラブ活動体制整備事業				
目 的	「大洲市部活動地域移行推進計画」に基づき、地域スポーツクラブの育成や休日部活動の段階的な地域展開を推進し、推進計画の改定を図る。				
事業実施状況	<p>少子化や教員の働き方改革を見据えて、大洲市部活動地域移行推進計画に基づき、部活動の段階的な地域移行と、地域スポーツ環境の一体的な整備に向けた取組を総合的に推進した。サッカークラブとカヌークラブの実証事業を通して地域クラブの活動体制を確立するとともに、新たなクラブにおいても休日における学校部活動及び地域クラブ活動の在り方について検討した。</p> <p>1 地域スポーツクラブ体制整備事業（国の委託事業）を活用した実証事業の実施 【休日部活動の地域展開】 ・カヌー 9人 計57回（延279人参加） ・サッカー 27人 計13回（延101人参加）</p> <p>2 本市の部活動の地域展開の方向性の検討・決定 ・部活動地域展開検討班会の実施（4回） ・地域部活動推進協議会の開催（2回）</p> <p>3 大洲市部活動地域移行推進計画の改定 ・大洲市部活動地域展開推進計画の決定（R8. 3）</p>				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予 算 額	0	1,731	2,279	1,094
	決 算 額	0	1,089	1,012	806
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率		62.9%	44.4%	73.7%
事業区分	市単独事業	補助事業	補助事業	補助事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	903	912	800
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	0	186	100	6
事業の成果	国、県の動向に注視するとともに、部活動の地域展開と地域スポーツ環境の一体的な整備に向けた取組を行い、本市における部活動の地域展開の一定の方向性を決定した。また、実証事業では、課題等を洗い出し、想定される懸念事項や必要な施策等について検討班会や推進協議会で協議、検討した。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	生徒の安全性の確保をはじめ、指導者や生徒の移動手段、大会の在り方、受益者負担の整理など、多くの課題が存在している。今後は、これらの課題解決に向けた具体的な施策の構築を進めるとともに、児童生徒及び保護者に対して十分な周知・説明を行い、理解促進を図る必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	スポーツ振興課	係 名	スポーツ推進係	年度	R7
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	3 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主 要 施 策	4 スポーツ関係団体の育成				
事 業 名	53 スポーツ協会活動事業				
目 的	スポーツ関係団体の指導・育成に努めるとともに、競技スポーツと市民スポーツの中核を担う大洲市スポーツ協会の組織強化及び活動の充実を図ることにより、市民がスポーツを楽しむ機会の拡充と技術力の向上を図り、健康で明るい市民生活を創出する。				
事業実施状況	<p>大洲市スポーツ協会の活動を支援し的確な指導を行うことにより、協会に加盟している競技団体の競技力の向上を図っている。また、スポーツ祭、駅伝大会、健康マラソン大会など市民がスポーツに親しむ機会を提供し、健康増進とスポーツの普及振興を図っている。</p> <p>1 スポーツ協会の構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種目別スポーツ団体 24部 ・地域スポーツ団体 19団体 ・学校体育団体、賛助会員 <p>2 スポーツ協会の活動状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大洲市スポーツ祭 令和7年10月～令和8年1月 13種目 約1,248参加 ・大洲市地域スポーツ協会対抗レクリエーションバレーボール大会 令和7年10月5日 18チーム 270人が参加 ・大洲市駅伝大会 令和7年11月23日 ・大洲市健康マラソン大会 令和8年2月22日 				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予 算 額	5,744	5,889	6,711	7,081
	決 算 額	5,744	5,889	6,711	7,081
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	5,744	5,889	6,711	7,081
事業の成果	スポーツ協会主催の大洲市スポーツ祭では、13種目部で1,000人を超える参加があり、市民がスポーツに親しむ機会を提供するとともに、競技力の向上や健康で明るい市民生活の実現に寄与することができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	スポーツ協会が本市のスポーツ振興の中核的組織として機能できるよう、更なる組織体制の強化を図る必要がある。また、各競技団体やスポーツ推進委員に加え、他のスポーツ関係団体とも連携を深めながら、地域全体でスポーツ活動の充実を促進していくことが課題である。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	スポーツ振興課	係 名	スポーツ推進係	年度	R7
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	3 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主 要 施 策	4 スポーツ関係団体の育成				
事 業 名	54 スポーツ少年団等活動事業				
目 的	青少年スポーツの普及と指導者の育成及び活動の活発化を図るとともに、各種スポーツ大会を開催する。				
事業実施状況	○スポーツ少年団活動事業 (桝山教育振興会助成事業) (1) 団 数 26団 (2) 団 員 数 397人(男247人、女150人) (3) 指導者数 60人(男50人、女10人) (うちスポーツ少年団の理念を学習した者 50人) (4) 種目 ソフトボール、サッカー、ミニバス、剣道、 バレーボール、水泳、軟式野球 (5) 大会 ソフトボール：2回 サッカー ：1回 ミニバス ：2回 剣道 ：2回 バレーボール：1回 軟式野球 ：1回				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予 算 額	546	546	546	646
	決 算 額	546	546	546	646
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
事業区分	その他	その他	その他	その他	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	200	200	200	300
	一般財源	346	346	346	346
事業の成果	団員数の減少等、様々な実情を踏まえながら、競技団体ごとに大会を企画・運営し、青少年のスポーツ活動の機会を保障することができた。今年度は熱中症対策のため、公益財団法人桝山教育振興会の支援によりテントを購入した。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	スポーツ少年団では、全国的な課題である団員数の減少や指導者不足が本市においても見られている。今後は、多く子どもたちが継続して競技に親しむ機会を確保できるよう、従来の規定や運営方法の見直しを行うとともに、指導者確保や活動支援に向けた施策を検討していく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調査

所 属 名	スポーツ振興課	係 名	スポーツ推進係	年度	R7
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	3 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主 要 施 策	5 プロスポーツを活用した地域振興				
事 業 名	55 愛媛FC・FC今治・愛媛マンダリンパイレーツ・愛媛オレンジバイキングス等を通じた地域密着型活動支援事業				
目 的	プロスポーツを通じた地域密着型活動の支援等を行うことにより、地域の一体感の醸成を図るとともに地域活性化を促進する。				
事業実施状況	<p>愛媛FC、愛媛マンダリンパイレーツ、愛媛オレンジバイキングスのそれぞれの公式戦において、観光パンフレット、特産品の配布・抽選会等を実施し、本市の情報を発信して地域振興の活性化を図った。</p> <p>1 愛媛FC公式戦 大洲市「マッチシティ」 (1) 日時 令和7年10月5日（日） 対 水戸ホーリーホック (2) 場所 ニンジニアスタジアム (3) 観客 4,119人</p> <p>2 愛媛マンダリンパイレーツ公式戦 (1) 日時 令和7年6月7日（土） 対 香川オリーブガイナーズ (2) 場所 八幡浜・大洲地区運動公園野球場 (3) 観客 868人</p> <p>3 愛媛オレンジバイキングス公式戦「マッチシティ」 (1) 日時 令和8年1月30日（金）、31日（土） 対 ライジングゼファーフ岡 (2) 場所 松山市総合コミュニティセンター (3) 観客 30日1,774人、31日2,113人</p> <p>4 愛媛県プロスポーツ地域振興協議会事業への参加 P R I D E O F 中四国 令和7年10月19日（日） FC今治 対 レノファ山口（アシックス里山スタジアム：今治市）</p>				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予 算 額	507	507	507	511
	決 算 額	507	507	507	511
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	507	507	507	511
事業の成果	例年開催している愛媛FCマッチシティと愛媛MP公式戦、愛媛オレンジバイキングスマッチシティにおいて、観光パンフレットや物産品の配布を行い大洲市のPRを行った。また、バスケットクリニックや「P R I D E O F 中四国」なども展開することができ、地域の活性化に貢献することができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	愛媛FC、愛媛マンダリンパイレーツ、愛媛オレンジバイキングス、FC今治のファン層の拡大を図るため、積極的に公式戦の誘致を図り、市民と選手が交流する機会を増やす必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	スポーツ振興課	係 名	スポーツ推進係	年度	R7
基 本 目 標	2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針	3 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主 要 施 策	6 スポーツを通じた交流の促進				
事 業 名	56 オンラインスポーツ推進事業				
目 的	市全体を運動の場として、いつでも取り組むことができるオンラインスポーツの普及を図り、市民の健康増進及び健康寿命の延伸につなげていく。				
事業実施状況	<p>令和4年6月、㈱アールビーズと包括連携協定を締結し、「スポーツタウンITプログラムサービス」を令和6年度で終了した。 (サービス利用料) R6 1,320千円</p> <p>令和7年度から、健康増進課が愛媛県と協働で展開している健康アプリ「kencom(ケンコム)」で同様のサービス提供が可能であることから、アプリを統一した。しかし、これまで実施してきた本市独自のウォーキングイベントの開催は困難となった。</p>				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予 算 額	1,194	1,440	1,320	0
	決 算 額	694	1,440	1,320	0
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	58.1%	100.0%	100.0%	0.0%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	94	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	600	1,440	1,320	0
事業の成果	<p>アプリの一本化により、大洲市独自のオンラインウォークイベントの開催は困難となったものの、新アプリ「kencom」では、愛媛県が「みんなで歩活(あるかつ)」等のウォークイベントを定期的実施している。上位入賞者への懸賞企画も取り入れられており、従来の市内参加者同士による取組から、県内全体で競い合う形式へと広がったことで、参加意欲の向上や事業の魅力拡大につながった。</p>				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	<p>新アプリの活用により広域的なウォークイベントへの参加が可能となった一方で、参加者数の更なる増加やアプリの周知方法が課題となっている。今後は、本市として独自に実施できる健康づくり施策等を検討し、継続的な参加促進につなげていく必要がある。</p>				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名		スポーツ振興課	係 名	スポーツ推進係	年度	R7
基 本 目 標		2 生涯学習の推進と文化・スポーツの振興				
基 本 方 針		3 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進				
主 要 施 策		6 スポーツを通じた交流の促進				
事 業 名		57 日本スポーツマスターズ2025事業				
目 的		令和7年9月にシニア世代の総合スポーツ大会である「日本スポーツマスターズ2025」が愛媛県域で開催され、本市は、総合体育館が「バスケットボール男子」の会場となることから、円滑な運営に努めるとともに、全国から参加する選手等に対し、おもてなしサービスや観光PRを行う。				
事業実施状況		総合体育館で開催された「バスケットボール男子」大会の円滑な運営に努めるとともに、全国から参加する選手等に対し、おもてなしとして特産物の無料配布・観光PRを行った。 ■時 期 (本県) 令和7年9月19日(金)～9月23日(火) (本市) 令和7年9月20日(土)～9月22日(月) ■会 場 (本県) 11市4町 (本市) 大洲市総合体育館 ■参加者 (本県) 7,533人 (バスケットボール男子) 814人 ■おもてなし内容 ・選手やその家族等に対し、しぐれ、月窓餅を配布した。 (3日間実施) 総数1,650個 ・暑さ対策として、選手、審判等に氷を配布した。 ■施設整備 ・床ワックス掛け ・バスケットゴール保守点検 ・バスケット備品の購入 ショットクロック(新規格2組)				
事業年度				R6	R7	
事業費	予 算 額			140	1,992	
	決 算 額			108	1,208	
	繰 越 額			0	0	
	執 行 率			77.1%	60.6%	
事業区分				その他	その他	
財 源	国庫補助金			0	0	
	県補助金			0	193	
	地方債			0	0	
	その他特財			0	0	
	一般財源			108	1,015	
事業の成果		全国から参加した選手やその家族等に対し、しぐれ等の無料配布を実施したことで、本市の特産品や観光のPRにつながり、多くの参加者から好評を得ることができた。また、試合後には対戦チーム同士が記念撮影を行うなど、スポーツを通じた交流や親睦が深められ、地域間交流の促進にも寄与した。				
自己評価		所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点		競技運営や会場運営については、大きな支障もなく円滑に実施することができた。				

基本方針 6 スポーツの振興と健康・体力づくりの推進

【外部評価委員意見】

- スポーツ表彰制度の充実について、懸垂幕の掲出は地域の方にも見ていただくだけではなく、子供たちも懸垂幕を見て、「自分も名前を掲出してもらえよう頑張るんだ」という指標ができる意味深い取組である。今後は、スポーツ表彰だけでなく、文化系の表彰による懸垂幕の掲出も行うよう、続けてほしい。
- 地域スポーツクラブ活動体制整備事業における大洲市部活動地域展開推進計画について、部活動をされている子供や保護者の熱量に違いがあるので、取りまとめが大変だと思うが、この熱量の違いをどう包摂していくか、市による支援や地域間連携の仕組みづくりを検討し、子供たちのスポーツ推進のため御尽力いただきたい。
- 日本スポーツマスターズ 2025 事業について、大きなイベントだったが無事に成し遂げられたことは、皆さんにとってもよい経験になった。

空

白

基本方針 7 社会総がかりで取り組む教育環境づくり

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化振興課	係 名	青少年育成係	年度	R7
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	1 社会総がかりで取り組む教育環境づくり				
主 要 施 策	1 青少年健全育成事業の推進				
事 業 名	58 学校・家庭・地域連携推進事業				
目 的	家庭や地域の教育力が低下していることから、未来を担う子供たちを健やかに育むため、学校や家庭及び地域住民等がそれぞれの役割と責任を自覚し、地域全体で教育に取り組むことを目的として実施する。				
事業実施状況	<p>学校・家庭・地域が連携・協働し、地域住民等の参画による地域の実情に応じた取組を有機的に組み合わせ様々な教育支援活動を実施した。</p> <p>1 地域学校協働活動 全13本部</p> <p>「ふるさと学習を軸とし、系統性を重視した各校区の小中一貫教育の推進」の支援</p> <p>(1) 平野小・中学校地域学校協働本部</p> <p>(2) 河辺小学校地域学校協働本部</p> <p>(3) 肱川小・中学校地域学校協働本部</p> <p>(4) 新谷小・中学校地域学校協働本部</p> <p>(5) 粟津小・三善小・大洲東中学校地域学校協働本部</p> <p>(6) 菅田小・肱東中学校地域学校協働本部</p> <p>(7) 長浜小・中学校地域学校協働本部</p> <p>(8) 大洲北中学校地域学校協働本部</p> <p>(9) 喜多小学校地域学校協働活動本部</p> <p>(10) 大洲南中学校地域学校協働活動本部</p> <p>(11) 大洲小学校地域学校協働活動本部</p> <p>(12) 平小学校地域学校協働活動本部</p> <p>(13) 久米小学校地域学校協働活動本部</p> <p>2 放課後子ども教室</p> <p>(1) 上須戒 放課後子ども教室（喜多小学校校区上須戒地区）読み聞かせ、地産地消食育、体験学習ほか</p> <p>(2) 平野 放課後子ども教室（平野小学校校区）俳句、工作、音楽、運動ほか</p> <p>(3) 河辺 放課後子ども教室（河辺小学校校区）読み聞かせ、俳句、体験学習ほか</p> <p>3 家庭教育支援（チーム活動）</p> <p>大洲子育てサポート“そよ風”による家庭教育支援活動</p> <p>(1) 活動日数 187日（月、火、木、金曜日）</p> <p>(2) 相談対応 99件（電話・来所・家庭訪問・事業所訪問）</p> <p>(3) 啓発活動 ①情報紙「そよ風通信」配布 年11回（毎回4,300枚）</p> <p>②子育て広場、学習会 20回</p> <p>4 えひめ未来塾</p> <p>ひらの未来塾による地元の小・中学生への学習支援活動</p> <p>(1) 活動日数 11日間（夏期休業中）</p> <p>(2) 参加延人数 小学生335人、中学生146人、支援員等：11人、ボランティア：57人</p>				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予 算 額	18,879	19,168	18,117	15,048
	決 算 額	9,216	12,210	10,988	11,115
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	48.8%	63.7%	60.7%	73.9%
事業区分	補助事業	補助事業	補助事業	補助事業	
財 源	国庫補助金	3,042	3,658	3,638	3,692
	県補助金	3,041	3,657	3,638	3,691
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	3,133	4,895	3,712	3,732
事業の成果	<p>全13地域学校協働活動本部の設置が完了し、令和7年度には全ての本部に地域コーディネーターを配置することができた。また、放課後子ども教室(3教室)では、さまざまな体験学習を実施し、子どもたちの居場所づくりに取り組むことができた。</p> <p>家庭教育支援の「大洲子育てサポート“そよ風”」独自のホームページを活用し、利用者への周知と相談予約の利便性を図れた。令和4年度から実施している「ひらの未来塾」を令和7年度も開設し、参加者数の増加につながるとともに、継続した学習支援を行う取組ができた。</p>				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	地域コーディネーターが頑張りがすぎず、継続して事業を実施してもらうために、研修会や意見交換会等を開催し、支援体制に取り組んでいく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化振興課	係 名	青少年センター	年度	R7
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	1 社会総がかりで取り組む教育環境づくり				
主 要 施 策	1 青少年健全育成事業の推進				
事 業 名	59 市PTA連合会による家庭教育・青少年健全育成事業への支援				
目 的	子供の生活習慣の乱れやいじめ、犯罪の未然防止を目的として「小中学生のスマートフォン使用に関する市内統一ルール」の普及に努める。				
事業実施状況	<p>「小中学生のスマートフォン使用に関する市内統一ルール」を遵守してもらうため、家庭内のよく見える場所にルールを掲示することを啓発するとともに、市の施設への懸垂幕掲示や市PTA連合会委員会活動を利用した啓発活動を実施した。</p> <p>1 各小中学校への市内統一ルールの啓発 各種会議等での、市内統一ルールの啓発 保護者への啓発資料としてリーフレットを作成し配布</p> <p>2 懸垂幕設置 (1) 期間 令和8年2月1日～3月31日 (2) 場所 市役所本庁舎、コミュニティセンター、小中学校</p> <p>3 スマートフォン等利用に関するアンケート調査 (1) 時 期 令和8年2月実施 (2) 対 象 小学5年生、中学2年生の保護者 (3) 「PTAおおず」でアンケート結果の掲載</p>				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予算額	0	0	0	0
	決算額	0	0	0	0
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
事業区分	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0
事業の成果	<p>大洲市PTA連合会が行う、「小中学生のスマートフォン使用に関する市内統一ルール」の普及を図るため、家庭への啓発資料として新入生の保護者にリーフレットを配布した。</p> <p>また、「PTAおおず」において、「スマートフォン等利用に関するアンケート調査」の結果を配布し、保護者等が現状を把握できるよう努めた。</p>				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	<p>スマートフォンやタブレット機器、ゲーム機の普及により、子供たちが通信機器等に触れる時間が増えたため、各家庭でのルール作りが今まで以上に重要になってくることから、より一層の啓発活動が必要である。</p> <p>また、「スマートフォン等利用に関するアンケート調査」から市内統一ルールの普及は成果であるが、それが守れているかについては引き続き課題が残る。</p>				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化振興課	係 名	青少年センター	年度	R7
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	1 社会総がかりで取り組む教育環境づくり				
主 要 施 策	1 青少年健全育成事業の推進				
事 業 名	60 「家族の出番です」通信講座事業				
目 的	生涯学習機会の拡充及び家庭教育の深化を図る。				
事業実施状況	<p>主に小中学校の保護者を対象に通信講座「家族の出番です」の通信紙を配布するとともに、関連事業として実施している講演会に案内し、スクーリングとした。</p> <p>1 運営委員会（運営委員9人） (1) 定例会 令和7年 第1回運営委員会【書面決議】 令和8年 第2回運営委員会【書面決議】</p> <p>2 通信講座 (1) 発行回数 通信紙年3回発行 (2) 配布先 小中学校の保護者、教職員、行政、関係諸団体等 (3) 配布部数 2,700部</p>				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予 算 額	453	347	349	331
	決 算 額	285	303	283	286
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	62.9%	87.3%	81.1%	86.4%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	285	303	283	286
事業の成果	実施計画どおりに通信紙を発行し、子育ての貴重な時期における親子の触れ合いの一助とすることができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	親子の触れ合いや家庭教育の充実を図るために、今後も執筆者の選定をはじめ、より一層の紙面の充実に努めたい。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化振興課	係 名	青少年センター	年度	R7
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	1 社会総がかりで取り組む教育環境づくり				
主 要 施 策	1 青少年健全育成事業の推進				
事 業 名	61 青少年センター運営事業				
目 的	少年問題を取り扱う関係機関・団体等と緊密な連携を図り、少年補導委員の協力を得て、少年に対する生活指導及び補導活動を総合的かつ効率的に行い、少年の健全育成に寄与する。				
事業実施状況	<p>少年補導委員（87人）による巡回指導や青色防犯パトロール車（通称：青パト）をはじめとする地域の見守り活動の活性化を図り、地域ぐるみの学校安全体制の整備や危機管理に努めた。また、学校・地域・PTA等の人材の育成とともに、家庭・学校・地域・諸機関との連携強化を図るため、青少年健全育成推進大会・各地区青少年健全育成推進協議会等の充実に取り組んだ。</p> <p>1 街頭補導 (1) 巡回指導 約530回(延べ1,307人) (2) 青パト活動 265回 夜間合同パトロール：令和7年7月1日（火） 令和7年12月2日（月）</p> <p>2 少年補導委員会 (1) 総 会 令和7年4月17日（木） (2) 理事会 令和7年9月18日（木） 令和8年2月12日（木）</p> <p>3 青少年健全育成推進大会 令和7年7月12日（土） 参加者138名 ・講演会 講師 中尾治司（大洲青少年交流の家所長） 演題 ～生き抜く力を育てる地域教育～</p>				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予算額	4,823	4,978	5,875	6,098
	決算額	3,913	4,224	4,909	5,028
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	81.1%	84.9%	83.6%	82.5%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	3,913	4,224	4,909	5,028
事業の成果	少年問題を取り扱う関係機関や団体等と緊密な連携を図るとともに、少年補導委員の地道な活動により、青少年の健全育成に取り組むことができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	少年補導委員の高齢化やなり手不足などから、人材確保と従来の地区別人員について検討を行う必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化振興課	係 名	青少年育成係	年度	R7
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	1 社会総がかりで取り組む教育環境づくり				
主 要 施 策	2 子供読書活動の推進				
事 業 名	62 第3次大洲市子供読書活動推進計画に基づく施策の実施				
目 的	あらゆる機会と場所において読書に親しむ習慣を確立するとともに、自主的に読書活動を行うことができるよう、子供や家庭、学校等、地域社会に対する働きかけや環境づくりの施策を推進する。				
事業実施状況	<p>令和5年度からの5年間の推進施策と取組方針をまとめた「第3次大洲市子供読書活動推進計画」の計画に基づき、関係組織（市立図書館・学校等（保育所・幼稚園含む）・PTA・ボランティア団体）による取組を行った。</p> <p>1 「第3次大洲市子供読書活動推進計画」の推進 (1) 策定年月 令和5年5月 (2) 計画期間 令和5年5月～令和10年3月</p> <p>2 不読率アンケート調査(毎年)の実施 (1) 実施時期 令和7年6月 (2) 実施内容 設問：1か月に何冊くらい本を読みましたか。 対象：小学生(全学年)、中学生(全学年) 保育所・こども園(5歳児)、幼稚園(5歳児) (3) 結 果 不読率：小学生0.9%、中学生4.9%、就学前6.3% ※不読率は全体としては小・中学生、就学前(5歳児)昨年度より向上している。</p> <p>3 大洲市子供読書活動推進委員会の開催 第1回：令和7年8月20日(水) 第2回：令和8年3月6日(金)</p> <p>4 ブックスタート事業 (1) 実施時期 毎月1回(10か月児育児相談時) (2) 対 象 者 183人 (3) 配 布 率 99.5%(182名) ※令和8年3月31日現在</p>				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予 算 額	52	52	52	52
	決 算 額	21	21	37	38
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	40.4%	40.4%	71.2%	73.1%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	21	21	37	38
事業の成果	「不読率等アンケート調査」を毎年6月に実施することにより、子供たちの読書の状況を把握し、改善方法をさぐる材料を得ることができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	アンケート調査の結果及び「第3次大洲市子供読書活動推進計画」に基づき、不読率を改善していく取組を推進する必要がある。また、「第4次大洲市子供読書活動推進計画」の策定に向け、アンケート内容や実施時期等の検討を行う必要がある。				

基本方針７ 社会総がかりで取り組む教育環境づくり

【外部評価委員意見】

- 市PTA連合会による家庭教育・青少年健全育成事業への支援について、毎年お願いをしているが、特に、私が市PTA連合会の役員時代に小中学生のスマートフォン使用に関する市内統一ルールを作成した経緯がある。当時は、保護者の方が使用方法がわかっていないケースが多かった。現在は、新たな課題等も出てきているので、引き続き市内統一ルールの普及を図り、適切な利用に努めていただきたい。
- 「家族の出番です」通信講座事業について、いつも楽しく通信紙を拝見している。家庭教育の推進を図るためにも継続をお願いしたい。

基本方針 8 子供と向き合う教育環境づくり

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R7
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	2 子供と向き合う教育環境づくり				
主 要 施 策	1 相談体制の充実				
事 業 名	63 スクールソーシャルワーカー活用事業				
目 的	いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待など児童生徒の問題行動等に対応するため、社会福祉等の専門的な知識・技術を用いて児童生徒や保護者等の相談に応じたり、関係福祉機関等とのネットワークを活用して問題を抱える児童生徒に支援を行う。				
事業実施状況	<p>1 巡回型としてスクールソーシャルワーカー1名を大洲市教育委員会に設置し、市内全小中学校の問題解決に対応する。</p> <p>2 教職員以外の立場として、専門的な知見を持つスクールソーシャルワーカーが問題解決への対応を図る。</p> <p>3 スクールソーシャルワーカーから教職員に対して、児童生徒が置かれている多種多様な環境への対応方針等を指導・助言する。</p> <p>4 地域や関係機関との密接な連携体制を構築する。</p> <p>5 スクールソーシャルワーカーの主な職歴 元教諭、心理療法士、メンタルヘルス運動指導士</p> <p>6 令和7年度勤務実績 年間勤務日数 62日 年間勤務時間 360時間（時給1,300円）</p>				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予 算 額	444	479	538	547
	決 算 額	416	441	503	510
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	93.7%	92.1%	93.5%	93.2%
事業区分	補助事業	補助事業	補助事業	補助事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	220	220	220	220
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	196	221	283	290
事業の成果	保護者との面談の機会を多く持ち、学校（教員）と児童の関係性を保ちつつ、保護者自身が抱えている問題にも耳を傾けることで、保護者と学校（教員）との意見や考え方の違いやずれについて軌道修正を行うことができ、互いに協力しながら問題の解決に当たることができている。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	令和3年度より拠点校型から全小中学校を訪問する巡回型へと変更を行い、現時点では問題ないが、1人の配置であることからきめ細かな対応が必要な事案が多く発生した場合、対応困難になることが想定される。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R7
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	2 子供と向き合う教育環境づくり				
主 要 施 策	1 相談体制の充実				
事 業 名	64 ハートなんでも相談員設置事業				
目 的	生徒指導の充実と安全・安心な学校づくりを推進する。 小・中学校に児童生徒、保護者、教員等に対して相談活動を行うハートなんでも相談員を設置することにより、問題行動、不登校等の未然防止並びに早期の発見及び解決を図る。				
事業実施状況	<p>1 活動内容</p> <p>(1) 生徒、保護者、教員等からの相談に関すること</p> <p>(2) 地域と学校の連携を図るための支援に関すること</p> <p>(3) 教育活動への支援に関すること</p> <p>2 令和6年度より1名増員し、計4人のハートなんでも相談員を配置している。</p> <p>3 ハートなんでも相談員の主な職歴</p> <p>(1) 喜多小相談員 元中学校長</p> <p>(2) 菅田小相談員 元幼稚園教諭</p> <p>(3) 平 小相談員 元小学校教諭</p> <p>(4) 肱川小(中)相談員 内子高校スクールライフアドバイザー</p> <p>4 勤務日数 70日／年、280時間（4h／日、1,000円／h）</p>				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予算額	967	972	1,355	1,431
	決算額	966	972	1,303	1,362
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	99.9%	100.0%	96.2%	95.2%
事業区分	補助事業	補助事業	補助事業	補助事業	
財源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	279	279	372	372
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	687	693	931	990
事業の成果	<p>学校行事に積極的に参加して配慮を要する児童生徒に関わることで、人間関係や児童生徒理解を深めることができ、少しずつ問題の改善に向かっている。</p> <p>相談を受けている児童生徒や保護者について、養護教諭と円滑に情報交換をしていくことで、相談活動の成果を上げることができている。</p>				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	今後も学校と相談員との情報共有を的確に行い、相談活動の充実を図ることが必要である。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R7
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	2 子供と向き合う教育環境づくり				
主 要 施 策	1 相談体制の充実				
事 業 名	65 スクールカウンセラー活用事業				
目 的	小中学校に、児童生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識及び経験を有する者を配置し、教育相談体制の充実を図る。				
事業実施状況	<p>1 児童生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識及び経験を有するスクールカウンセラー等を、中学校区程度の地域を一単位として、その域内にある中学校を拠点校とし、域内の小学校や近隣の小学校を対象校として配置することにより、教育相談体制の充実を図る。</p> <p>2 令和7年度スクールカウンセラー等配置校一覧 (1) 大洲北中学校（喜多小学校・平小学校）SC (2) 大洲南中学校（大洲小学校・久米小学校）SC (3) 平野中学校（平野小学校）準SC (4) 長浜中学校（長浜小学校）SC (5) 大洲東中学校（三善小学校・粟津小学校）SC (6) 肱東中学校（菅田小学校）SC (7) 新谷中学校（新谷小学校）SC (8) 肱川中学校（肱川小学校）SC ※各中学校は拠点校、かつこ内は接続校</p> <p>3 勤務日数 39日／年</p> <p>4 追加派遣 ・河辺小学校 2日 ※河辺小学校はスクールカウンセラーの拠点校に接続していないため、学校からの要請により追加派遣が行われた。</p>				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予 算 額	0	0	0	0
	決 算 額	0	0	0	0
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
事業区分	その他	その他	その他	その他	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0
事業の成果	<p>教職員へのコンサルテーションの充実により、児童生徒に対する心理的理解がより深まり、指導・支援の幅が広がった。</p> <p>専門的な立場から、問題行動の解決に向けて具体的なアプローチを行うことでスムーズな対応でき、問題や悩みを持つ児童生徒や保護者に対して、学校全体で情報を共有し支援を行うことができた。</p>				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	接続校である小学校への相談業務も徐々に浸透しており、より一層小・中学校で連携が図れるように周知・啓発を行っていく必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R7
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	2 子供と向き合う教育環境づくり				
主 要 施 策	1 相談体制の充実				
事 業 名	66 教職員メンタルヘルス・個別相談事業				
目 的	児童生徒の多様化・複雑化する課題への対応、また教職員の担当業務増大による心身の疲労から、メンタル面で不調を来す者が出ている現状を踏まえ、心理療法士を各学校へ派遣して個別相談事業、メンタルヘルスに関する研修会を実施する。				
事業実施状況	1 対象 小・中学校教職員 2 配置 心理療法士 1人 3 事業実施形態 各学校へ派遣し、メンタルヘルス上、配慮の必要な教員と面談を行ったり、職員会議等で講義を行ったりした。 4 訪問実績（R7年度） 4月：4回（12校） 5月：5回（13校） 6月：6回（16校） 7月：6回（15校） 8月：4回（9校） 9月：6回（14校） 10月：6回（13校） 11月：5回（12校） 12月：5回（13校） 1月：5回（15校） 2月：4回（10校） 3月：4回（11校） 計：60回				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予算額	720	720	720	720
	決算額	648	684	708	720
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	90.0%	95.0%	98.3%	100.0%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	648	684	708	720
事業の成果	月初めに訪問予定校を計画しているが、急な相談依頼があった場合は、計画とは別に訪問日を設け、本人へのカウンセリングや、校長や養護教諭等に対応の仕方についてアドバイスを行うなど、臨機応変に対応することができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	心身共に健康な教職員を増やすため、更にメンタルヘルスケア対策の充実を図ることが必要である。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R7
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	2 子供と向き合う教育環境づくり				
主 要 施 策	2 不登校への対応				
事 業 名	67 おおずふれあいスクール運営事業				
目 的	不登校対応施設として、大洲青少年交流の家に「おおずふれあいスクール」を設置し、心の居場所の提供に努めるとともに、学校復帰や社会的自立への支援を行う。				
事業実施状況	<p>通所生が伸び伸びとさまざまな活動をする中で、自己を表現したり、自己の存在感を実感させたりし、居場所が実感できるようにしている。 不登校及び不登校傾向にある児童生徒に対しては、学校や関係機関等との連携を図りながら、基礎学力の補充、学校復帰への支援に努めている。</p> <p>【活動内容】</p> <p>1 自主活動 (1) 基礎学力の補充 (2) 進学・就労への支援</p> <p>2 集団活動 (1) 自然体験活動 (農園体験、園芸体験、ウォークラリーなど) (2) 社会体験活動 (体験活動、社会見学) (3) 文化・スポーツ体験活動 (読み聞かせ、手芸・工作、調理実習、スポーツ、陶芸、ALTとの交流など)</p>				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予算額	6,523	6,893	8,216	8,135
	決算額	5,719	6,529	7,798	6,783
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	87.7%	94.7%	94.9%	83.4%
事業区分	その他	その他	その他	その他	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	1,200	1,200	1,200	1,200
	一般財源	4,519	5,329	6,598	5,583
事業の成果	<p>令和7年度は14人(小学生5人、中学生9人)が登録し、通所した。中学3年生3人は全員高校に進学した。1年間で延べ36件の相談、延べ18人の見学・体験を受けた。また、平成30年度から保護者の相談事業を毎月開催しており、きめ細かな保護者支援を行うことができた。さらに、令和5年度から「進路説明会」を開催し、生徒や保護者に好評を得ている。</p> <p>通所については原則保護者の送迎としているが、通所したくてもできない場合の対策として送迎体制を整えることができた。</p>				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	児童生徒及び保護者への更なる支援の充実に向けて、取り組む必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R7
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	2 子供と向き合う教育環境づくり				
主 要 施 策	2 不登校への対応				
事 業 名	68 校内サポートルーム設置事業				
目 的	<p>学びの保障に向けた不登校対策において、校内サポートルームの設置促進が国から示されていることから、大洲北中学校へ設置し、多様な不登校対策と個々のニーズに合った学習の機会の確保を目指す。</p>				
事業実施状況	<p>校内サポートルームの設置初年度ということで、既に設置している学校と運営面や生徒への支援の方法について情報交換を行った。また、県教委・県教育センターが主催する研修会や情報交換会で具体的な内容等について研修を深めた。</p> <p>不登校生徒のうち、17名が登録し、登校できる日はサポートルームを活用して学習や活動を行うことができた。</p> <p>また、運営をするにあたり、個人の空間を確保するためのパーティションやファイル等の消耗品を購入した。さらに保護者等との連絡を密にとるために、サポートルーム専用携帯を1台契約している。</p> <p>保護者との連絡、家庭訪問、メタサポキャンパスの活用やおおずふれあいスクールとの連携等を行ってきた。</p>				
事業年度					R7
事業費	予 算 額				264
	決 算 額				213
	繰 越 額				0
	執 行 率				80.7%
事業区分	その他	その他	その他	その他	その他
財 源	国庫補助金				0
	県補助金				70
	地方債				0
	その他特財				0
	一般財源				143
事業の成果	<p>登校ナビゲーターを中心に、支援員等と協力しながら不登校生徒への対応をすることができた。校内サポートルームがあることで、安心して学校に登校できる生徒もおり、特に受験生である3年生にとっては、少しでも安心して受験について話をしたり、学習をしたりする場となった。学校の中に不登校対応の部屋があることで、管理職、学級担任や養護教諭とも連絡を密に取りながら対応することができた。</p>				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	<p>学校に登校できない生徒にとっては、校内にあるサポートルームはハードルが高いかもしれない。そのため、校外にあるおおずふれあいスクール等と連携を強化していく必要がある。また、不登校生徒はどの学校にも多数いる状況であるため、設置する学校を広げていくことも考える必要があるのではないかな。</p>				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R7
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	2 子供と向き合う教育環境づくり				
主 要 施 策	3 安全・安心な学校づくりの充実				
事 業 名	69 防災・安全教育推進事業				
目 的	大洲市防災教育推進連絡協議会を開催し、近隣学校や地域を巻き込んだ活動を進めるとともに、各学校・各園の実情に応じた防災教育・防災管理の充実を図る。				
事業実施状況	<p>令和6・7年度と学校防災教育実践モデル地域研究事業の指定を受け、平小学校を中心に防災に関する研修や取組を実施した。</p> <p>その中で、大洲市防災センターにて、幼稚園・小中学校等の防災管理担当者及び市・地域の防災関係機関等の担当者が一堂に会し、協議を行ったり、学校防災アドバイザーの専門的観点からの指導助言を受けたりすることによって、それぞれの連携を促進するとともに、大洲市学校防災マニュアルや各学校及び園の防災マニュアルの改善を図った。</p> <p>また、アドバイザーとして参加した各関係機関から講話をいただいた。国土交通省からは、現行学習指導要領に沿った「肱川流域の防災教育」についての授業展開例を紹介していただき、大洲市危機管理課防災センター長・防災専門官から、避難所運営ゲーム「HUG訓練」を行っていただいた。各校の防災担当者が、学校施設を避難所として運用する疑似訓練を行うことができた。</p>				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予 算 額	0	0	0	0
	決 算 額	0	0	0	0
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
事業区分	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	ゼロ予算事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0
事業の成果	<p>専門家からの指導助言やグループ協議により、防災・減災に対する意識を高めることができた。また、洪水対策のための避難訓練の在り方等について協議することができた。</p> <p>市の実態に合った、防災学習について考えることができた。</p>				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	防災管理・防災教育の充実を図るため、各学校との連携を強化する必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R7
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	2 子供と向き合う教育環境づくり				
主 要 施 策	4 これからの学校経営の在り方の検討				
事 業 名	70 学校運営協議会の推進事業				
目 的	地域との連携を深め、学校・家庭・地域が一体となった教育を推進する。				
事業実施状況	<p>1 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）設置事業の推進 〈設置状況〉 令和2年度…平野小、平野中 令和3年度…肱川小、肱川中、新谷小、新谷中 令和4年度…菅田小、肱東中、栗津小、三善小、大洲東中、 長浜小、長浜中 令和5年度…大洲小、久米小、大洲南中、喜多小、平小、 大洲北中 ※ 市内8地区の学校で、学校運営協議会を設置完了 (令和6年度から全ての地区で開催)</p> <p>2 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）設置事業の推進 〈開催状況〉 各協議会において、年3回程度開催し、学校運営についての説明や意見交換等を行う。また、学校評価委員による学校ごとの評価を行い、学校経営の在り方などについて進言する。</p>				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予算額	1,735	2,260	3,200	2,800
	決算額	1,710	2,080	1,935	1,879
	繰越額	0	0	0	0
	執行率	98.6%	92.0%	60.5%	67.1%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	1,710	2,080	1,935	1,879
事業の成果	<p>年度当初から確実に組織を立ち上げ、各運営協議会において、学校や地域の特性に合った運営を行えた。年間計画に沿った準備等を進め、年3回程度の協議会を開催することができた。</p> <p>また、各学校の経営方針や運営方法等を地域の人にも周知し、学校評価を行う一助となっている。</p>				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	更に地域との連携を深め、学校・家庭・地域が一体となった教育を推進してほしい。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R7
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	2 子供と向き合う教育環境づくり				
主 要 施 策	4 これからの学校経営の在り方の検討				
事 業 名	71 学校における働き方改革の推進				
目 的	「大洲市立学校における働き方改革検討委員会」を開催し、教職員の働き方を見直し、子供たちに効果的な教育活動を行うことができるよう必要事項を検討する。				
事業実施状況	<p>1 小中学校における業務改善の推進と教職員の時間外勤務時間の縮減</p> <p>(1) 令和7年度業務改善計画策定</p> <p>(2) 働き方改革検討委員会の開催（2回実施）</p> <p>(3) スクール・サポート・スタッフの増員計画</p> <p>2 大洲市立中学校に係る部活動方針の徹底</p> <p>(1) 方針に基づいた各中学校における推進</p> <p>3 ストレスチェック実施要領に基づく、大洲市立小中学校の教職員のストレスチェックの実施</p> <p>・年2回（7月、12月）実施</p> <p>4 班会・協議会の実施</p> <p>地域部活動推進事業検討班会を1回、地域部活動推進協議会を3回実施し、今後の部活動の在り方を協議</p> <p>5 大洲市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画の策定準備</p>				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予 算 額	342	281	282	308
	決 算 額	38	37	30	52
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	11.1%	13.2%	10.6%	16.9%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	38	37	30	52
事業の成果	<p>校務支援システムの変更等により全教職員の時間外勤務時間は以前と比較すると減少しているが、まだまだ十分とは言えないのが現状である。</p> <p>引き続き定期的なストレスチェックを実施することで、各学校の実態が把握できた。</p>				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	働き方改革に向けての意識が教職員及び保護者に浸透してきたものの、より一層の改善に向けた取組が必要である。今後は、高ストレス者に対する各校での定期的かつ適切な面談を実施するなど、一層の対策が必要と考える。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R7
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	2 子供と向き合う教育環境づくり				
主 要 施 策	5 教職員等の資質・能力の向上				
事 業 名	72 大洲市教育研究所運営事業				
目 的	大洲市の学校教育に関する専門的、技術的な研究調査および教育関係職員の研修を実施する。				
事業実施状況	<p>複雑化・多様化する課題に対して関係機関と連携した取組や研究を進め、研修の充実により教職員の専門的知識や資質の向上に努めた。</p> <p>1 教育研究所所員、専門委員会等による応募研究および発表 2 小中学校各教科等班会、主任会、専門委員会単位での研究、研修会 3 不登校等の事例検討会（学期に1回開催） 4 不登校対応マニュアル改訂</p> <p>令和7年度の一斉班会では、教科外（生活科、総合的な学習の時間、道徳、特別活動、特別支援）の授業を小学校6校、中学校6校で公開し、授業研究や情報交換をととして、授業力の向上を図った。 養護部会については毎年実施。</p>				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予 算 額	3,937	3,899	4,768	4,594
	決 算 額	3,198	3,390	4,149	4,112
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	81.2%	86.9%	87.0%	89.5%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	3,198	3,390	4,149	4,112
事業の成果	<p>各班会・主任会を中心とした指導方法の工夫・改善を図る授業研究や、夏季休業等を活用した各種研修会や講習会などを通して、教職員としての専門的な知識や技能の習得、実践的な指導力向上を図るうえで成果を上げた。また、成果の一端を「研究紀要」としてまとめることができた。</p>				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	<p>教職員としての専門的な知識や技能の習得、実践的な指導力向上を図るうえで更に成果を上げ、「働きがい」につなげていくことが必要である。</p>				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校教育係	年度	R7
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	2 子供と向き合う教育環境づくり				
主 要 施 策	6 生徒指導の充実				
事 業 名	73 いじめ・不登校等対策協議会推進事業				
目 的	「大洲市いじめ・不登校等対策協議会」において各機関の意見の集約を行うとともに、協議会からの提言を踏まえて、問題解消に努める。				
事業実施状況	<p>大洲市いじめ・不登校等対策協議会を3回開催した。大洲市のいじめ・不登校の実態（いじめの状況・件数・きっかけ・内容、不登校の状況・要因など）について、大洲市いじめ・不登校等対策協議会委員からアドバイスを受けた。令和7年度は、いじめ認知件数は前年度に比べ、小学校では増加したが中学校では減少している。不登校児童生徒数は小中ともに前年度に比べ増加している。各事例の態様や対応策について協議した。また、提言を各小中学校に周知し、適切に対応するよう働きかけた。</p> <p>1 教職員の指導力の向上を図るための「いじめ不登校に関する研修会」の開催 2 ふれあいスクールと連携した不登校児童生徒、保護者への対応 3 県教育支援センターが運用する「メタサポキャンパス」や、各校が行うオンライン授業の参加等の啓発</p>				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予 算 額	261	261	261	264
	決 算 額	182	173	101	107
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	69.7%	66.3%	38.7%	40.5%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	182	173	101	107
事業の成果	大洲市いじめ・不登校等対策協議会委員長をはじめ、協議会委員からの確かなアドバイスを受けることによって、各機関との連携が図れるなど、大洲市の「いじめや不登校」対策がよりよい方向に向かうことができた。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	対策・対応等が市内の小中学校に確実に浸透できるよう、啓発活動も含めて取組を進める必要がある。				

基本方針８ 子供と向き合う教育環境づくり

【外部評価委員意見】

- 校内サポートルーム設置事業について、様々な事情により登校が難しい子供が多数でてきていると聞く。他の生徒よりは多少遅れるかもしれないが、一步一步前進すれば、将来再び夢に向かって進んでいけると思うので、今後もおおずふれあいスクールと連携し取り組んでほしい。
- 子供と向き合う教育環境づくりという基本方針について、先ほど、個性を生かし可能性を伸ばす教育の推進で説明いただいた、「こどもまんなか」を基本理念に事業を実施されているとのことだが、教職員や保護者を取り巻く教育環境は、厳しいものがあると感じる。子供たちと向き合う時間を確保するためにも、心身共に健康であることが第一であるので、メンタルヘルス対応をしながらご活躍いただきたい。
- 防災・安全教育推進事業について、先般、東京都の小学校において想定外の火災が起きた。階段から避難できず屋根の上で救助を待つという状況であった。学校現場においては、様々なことを想定されていると思うが、今一度危機意識を共有し安全点検と避難計画等の再確認を行い、子供たちが安全に学校生活を送れるようお願いしたい。

基本方針 9 安全・安心な教育環境の構築

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名		教育総務課		係 名	学校施設係		年度	R7
基 本 目 標		3 豊かな学びを支える教育環境づくり						
基 本 方 針		3 安全・安心な教育環境の構築						
主 要 施 策		1 学校施設・設備の充実						
事 業 名		74 学校施設長寿命化改修及び計画の見直し						
目 的		学校施設長寿命化計画（R2～R7）に基づき、老朽化、設備の更新や多様な学習形態に対応する長寿命化改修を行い、児童生徒の教育環境の改善を図る。また、計画の見直しについては、社会情勢（少子化等）や財政面を踏まえたうえで整備手法の転換を図り、財政負担の軽減と平準化を図る。						
事 業 実 施 状 況		1 大洲南中学校 (1) スケジュール ①令和4年度 事前調査 ②令和5年度 実施設計 ③令和6～7年度 長寿命化改修工事 ※令和7年11月竣工 (2) 工事内容 施設の老朽化、設備の更新及び多様な学習形態に対応する長寿命化改修 一式（建築、電気機械設備、外構改修、その他付帯工事） 2 大洲市学校施設長寿命化計画の一部改訂 (1) 主な改訂内容 ①学校体育館空調の整備 ②学校プールの規模適正化 ③資料・データの時点修正 等 (2) 計画期間 令和8年度から令和12年度						
事 業 年 度		R4		R5		R6		R7
事業費	予 算 額	4,109		33,018		399,461		472,103
	決 算 額	4,106		32,463		398,536		468,820
	繰 越 額	0		0		0		0
	執 行 率	99.9%		98.3%		99.8%		99.3%
事 業 区 分		市単独事業		補助事業		補助事業		補助事業
財 源	国庫補助金	0		0		47,629		83,249
	県補助金	0		0		0		
	地方債	0		30,700		81,900		379,700
	その他特財	0		0		0		
	一般財源	4,106		1,763		269,007		5,871
事 業 の 成 果		大洲南中学校長寿命化改修工事においては、建物の耐久性や機能の向上が図れた。また、計画の見直しについては、財政負担の軽減と平準化を図るとともに、学校体育館空調整備及び学校プールの規模適正化の方針を固めることができた。						
自 己 評 価		所 属 長	○	担 当 者	○			
課 題 ・ 問 題 点		学校施設長寿命化改修については、今後限られた財源の中で、児童生徒数の減少を見据えた学校施設の整備を進めていく必要がある。						

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	教育総務課	係 名	学校施設係	年度	R7
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	3 安全・安心な教育環境の構築				
主 要 施 策	1 学校施設・設備の充実				
事 業 名	75 児童生徒用木製机椅子整備事業				
目 的	本市小中学校の児童生徒の机椅子については、全体の約7割が購入より20年を経過し、経年劣化による不具合や破損がみられるほか、机のサイズが旧JIS規格で小さく、学習端末を使用した授業に不向きであることから、地元木材を活用した机椅子の製作を行うことにより、学習環境の改善やSDGsの貢献を図る。				
事業実施状況	<p>【事業概要】 (桧山教育振興会助成事業)</p> <p>1 主な仕様 材 質：大洲市産 ヒノキ 天板寸法：W650×D450（新JIS規格） 機 能：JIS規格2号から6号まで高さ調節可（机・椅子共）</p> <p>2 製作予定数 1,550セット （製作予定期間 令和5年度～令和9年度）</p> <p>3 木製机椅子を使用する予定の児童生徒 小学校5～6年生及び中学校1～3年生（大洲市内全域）</p> <p><年度別 製作（予定）数> 令和5年度 300セット 令和6年度 400セット 令和7年度 400セット → 287セット（113セットはR8繰越） 令和8年度 450セット → 200セット予定 令和9年度 250セット予定</p>				
事業年度		R5	R6	R7	
事業費	予 算 額	24,000	35,200	35,200	
	決 算 額	23,991	31,988	22,951	
	繰 越 額	0	0	9,037	
	執 行 率	100.0%	90.9%	65.2%	
事業区分		その他	その他	その他	
財 源	国庫補助金	0	0		
	県補助金	0	0		
	地方債	0	0		
	その他特財	21,000	31,988	22,951	
	一般財源	2,991	0	0	
事業の成果	<p>当初計画では、地元産の木製机椅子400セットを製作予定であったが、令和6年度までに同業者から納品された木製椅子について、仕様変更や製作工程の見直し等を行う必要が生じたため、令和7年度において287セットしか納品できず、残りの113セットは令和8年度繰越となった。</p> <p>なお、令和7年度の287セットについては、市内中学校7校の1年生教室へ納入でき、学習環境の改善やSDGsの貢献を図ることができた。</p>				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	<p>仕様変更後の強度や製作工程等について、業者との打合せなどを十分に行う必要がある。</p> <p>木製机椅子の導入に伴い課題となる既存の老朽化した机椅子の活用・処分について計画的に取り組む必要がある。</p>				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	文化振興課	係 名	図書館	年度	R7
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	3 安全・安心な教育環境の構築				
主 要 施 策	2 社会教育施設・設備の充実				
事 業 名	76 社会教育施設維持修繕等事業				
目 的	市民が安全で安心して学ぶことができるよう施設の維持修繕を行い、延命化を図るとともに、設備の充実を図る。				
事業実施状況	<p>1 文化施設 【一般修繕】 ・大洲市埋蔵文化財センター、末永家住宅 百帖座敷 【工事】 ・大谷郷土文化保存伝習館空調設備工事</p> <p>2 図書館 【一般修繕】 ・本館冷温水ポンプ修繕ほか 【工事】 ・本館 図書館引込開閉器更新工事 ビジネスWi-Fi及びファイアウォール構築工事</p> <p>3 歴史民俗資料館 【一般修繕】 ・軒天等修繕</p> <p>4 博物館 【一般修繕】 ・5階空調機器等修繕</p>				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予 算 額	7,674	96,571	12,816	7,442
	決 算 額	7,524	94,700	10,582	5,736
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	98.0%	98.1%	82.6%	77.1%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	39,722	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	7,524	54,978	10,582	5,736
事業の成果	<p>所管する文化施設（埋蔵文化財センター、末永家住宅 百帖座敷、大谷郷土文化保存伝習館）、社会教育施設（図書館、歴史民俗資料館、博物館）において、老朽化している各施設の修繕等を実施するなど適正な施設管理を行った。</p>				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	<p>博物館が1978年（昭和53年）開館で築47年、図書館が2008年（平成20年）開館で築17年となる中、経年劣化による改修・修繕が必要になっている。利用者の安全と利便性に配慮し、緊急性の高いものから順次対処していくことが必要である。なお、現在の博物館については耐震性の問題があることから、移転を含めた施設再編の検討を行っている。</p>				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	スポーツ振興課	係 名	スポーツ推進係	年度	R7
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	3 安全・安心な教育環境の構築				
主 要 施 策	3 社会体育施設・設備の充実				
事 業 名	77 社会体育施設の充実と活用				
目 的	社会体育施設の設備の充実と利用者へのサービス向上に努め、利用促進を図るとともに、体育施設の改修を行う。				
事業実施状況	<p>体育施設の整備を行い、良質なスポーツ環境の提供と利用者へのサービス向上を図った。</p> <p>1 総合体育館玄関ホール・ロビー壁塗装工事</p> <p>2 蔵川ふれあい広場駐車場舗装工事</p> <p>3 長浜スポーツセンター照明器具取替工事</p> <p>4 喜多小学校屋外運動場夜間照明器具取替工事</p> <p>5 晴海ふれあいパーク女子トイレ改修工事</p> <p>■上記以外</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修繕 31件 ・備品購入 4件 				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予 算 額	50,960	50,281	51,953	11,206
	決 算 額	39,808	47,512	51,170	11,084
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	78.1%	94.5%	98.5%	98.9%
事業区分	その他	その他	その他	その他	
財 源	国庫補助金	0	0	9,751	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	19,200	0	9,200	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	20,608	47,512	32,219	11,084
事業の成果	社会体育施設の改修や備品の購入などにより、利用者の安全性と利便性が向上した。				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	施設の老朽化や利用者のニーズの変化などを踏まえながら、優先度などを総合的に判断し、計画的な改修による施設の長寿命化を図り、施設照明のLED化を計画的に進める必要がある。				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	スポーツ振興課	係 名	スポーツ推進係	年度	R7
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	3 安全・安心な教育環境の構築				
主 要 施 策	3 社会体育施設・設備の充実				
事 業 名	78 カヌー拠点施設整備事業				
目 的	<p>肱川のカヌーの普及と推進を図る拠点施設として、利用者の利便性や、安全性及び競技力向上等の機能を併せもつカヌー艇庫の移転改築に向けて事業を推進する。</p>				
事業実施状況	<p>地域交流センターの複合施設として整備するカヌー艇庫が、利便性、競技力向上、交流、観光などの機能を併せ持つカヌー拠点施設となるよう関係団体等と連携を図りながら施設設備の整備等を行った。 また、質の高いサービス提供を図り、効率的、効果的な管理運営を行うため、指定管理者制度導入に必要な法令整備や業者選定を行った。</p> <p>【施設備品の購入】 【屋外】 サップボード(パドル) 6 艇、ラック、移動式ハンガー、ガーデンパラソル、パラソルベース、ピクニックテーブル 【屋内】 テーブル、片袖机、事務椅子、ホワイトボード、保管庫、パンフレットスタンド、ホール用机、チェア、カウンター、カウンター用椅子 ローテーブル、背付きソファ、スツール、傘立て、サイネージ・台 【電気製品】 プロジェクター、卓上IH、掃除機、ルーター、電話機、冷蔵庫、電子レンジ</p> <p>【指定管理者制度の導入】 公募による業者選定のため、指定管理者候補者選定等審査会を開催し、プロポーザル審査による審査を行った。 (大洲市地域交流拠点施設しろしたテラス指定管理者) 一般社団法人かわまちコネクト</p>				
事業年度	R4	R5	R6	R7	
事業費	予 算 額	484	0	0	6,376
	決 算 額	484	0	0	6,043
	繰 越 額	0	0	0	0
	執 行 率	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
事業区分	市単独事業	市単独事業	市単独事業	市単独事業	
財 源	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他特財	0	0	0	0
	一般財源	484	0	0	0
事業の成果	<p>しろしたテラスの供用開始に向け、関係各所との協議を重ねながら、設置条例等の必要な規定整備や管理運営方法について協議・検討を行った。また、施設管理については、公募による指定管理者の選定を実施し、円滑な運用開始に向けた体制整備と準備を進めることができた。</p>				
自己評価	所 属 長	○	担 当 者	○	
課題・問題点	<p>新規施設であり、指定管理者導入について、適正な管理運営が確保されているかを十分に確認する必要がある。賑わいを創出する事業を継続的かつ安定的に実施するため、指定管理者と連携した運営体制の強化及び積極的な情報発信が必要である。</p>				

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名		スポーツ振興課		係 名		スポーツ推進係		年度		R7	
基 本 目 標		3 豊かな学びを支える教育環境づくり									
基 本 方 針		3 安全・安心な教育環境の構築									
主 要 施 策		3 社会体育施設・設備の充実									
事 業 名		79 社会体育施設空調設備整備事業									
目 的		近年の気候変動による熱中症のリスク軽減、防災拠点としての環境改善のため、体育館の空調設備は早急な整備が求められていることから、優先順位を定めて、効率的かつ効果的に整備する。									
事業実施状況		空調設備も含め、修繕や改修を計画的かつ効率的に行うため、施設の修繕履歴や利用状況などに加え、所在圏域人口や避難所指定の有無・収容人数など、複数のデータを一元化した「施設整備台帳」を作成し、整備計画策定に向けた調査研究を行った。 調査研究では、各施設の一人当たりの年間維持費の算出や、避難想定人数と圏域人口の対比などを行い、施設整備の優先度設定に向けた現状分析を行った。また、避難所支援の観点から市長部局予算を活用し、総合体育館へ大型スポットエアコン4台及びスポットエアコン6台を導入した。									
事業年度			R5		R6		R7				
事業費	予 算 額		0		0		0				
	決 算 額		0		0		0				
	繰 越 額		0		0		0				
	執 行 率										
事業区分			市単独事業		市単独事業		市単独事業				
財 源	国庫補助金		0		0		0				
	県補助金		0		0		0				
	地方債		0		0		0				
	その他特財		0		0		0				
	一般財源		0		0		0				
事業の成果		「施設整備台帳」の整備により、今後の整備方針策定に必要な基礎データの一元化を図ることができた。									
自己評価		所 属 長	○	担 当 者	○						
課題・問題点		基礎データを基に計画的な施設整備計画策定に向け、地域の人口動態や利用頻度などの情報収取を継続し、施設の統廃合を含めた検討を行っていく。									

大洲市教育委員会 主要施策・事業調書

所 属 名	スポーツ振興課	係 名	スポーツ推進係	年度	R7
基 本 目 標	3 豊かな学びを支える教育環境づくり				
基 本 方 針	3 安全・安心な教育環境の構築				
主 要 施 策	3 社会体育施設・設備の充実				
事 業 名	80 閉校施設利活用事業（ふれあい広場・屋内運動場）				
目 的	閉校した学校体育施設を社会体育施設として管理しているふれあい広場、屋内運動場等について、利活用状況を検証し、自治会等が目指す自主的なまちづくりや、心豊かに暮らすことができる住み良い地域社会の実現のため、活用しやすい管理体制の在り方について調査研究を行った。				
事業実施状況	社会体育施設として管理しているふれあい広場、屋内運動場等について、現地を確認するなど利活用状況を検証し、関係各課と管理体制について協議を行った。				
事業年度					R7
事業費	予 算 額				0
	決 算 額				0
	繰 越 額				0
	執 行 率				
事業区分					市単独事業
財 源	国庫補助金				0
	県補助金				0
	地方債				0
	その他特財				0
	一般財源				0
事業の成果	自治会等による地域管理の可能性を模索しながら、地域自治組織再編やコミュニティセンター指定管理者導入に係る動向を踏まえ、関係各課と協議・検討を行った。施設管理の在り方や地域負担に関する課題整理を進めることができた。				
自己評価	所 属 長	△	担 当 者	△	
課題・問題点	管理対象施設の増加に伴う地域負担への懸念から、地域や関係団体に反発が生じる可能性がある。そのため、地域管理の可能性を検討するとともに、指定管理者制度の活用や民間委託など、多様な管理手法について検討していく必要がある。				

基本方針９ 安全・安心な教育環境の構築

【外部評価委員意見】

- 学校プールの授業について、近年の記録的な猛暑により、児童生徒の熱中症リスクが高くなり、授業に支障を来しているのではないかと推察する。プール周りのコンクリートも高温になり、照り返しもきついので、遮光ネット等を取り付けるなど対応する必要があるのではないか。
- 児童生徒用木製机椅子整備事業について、若干故障があるみたいだが、せっかくよいものを製作していただいているので、大事に使っていただき、木育の推進や学習環境の改善を図っていただきたい。

參考資料

大洲市教育委員会外部評価委員会設置要綱

平成 21 年 4 月 1 日

大洲市教育委員会要綱第 2 号

(設置)

第 1 条 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和 31 年法律第 162 号)に基づく大洲市教育委員会(以下「教育委員会」という。)の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価(以下「評価等」という。)に関し、その客観性の確保を図るため、大洲市教育委員会外部評価委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第 2 条 委員会は、教育委員会の求めに応じて、次の各号に掲げる事項について意見を述べるものとする。

- (1) 点検及び評価方法の改善、充実にすること。
- (2) 教育委員会が実施した自己点検及び自己評価に関すること。
- (3) その他点検及び評価に関し必要と認めること。

(組織)

第 3 条 委員会は、委員 5 人以内で組織する。

2 委員は、教育に識見を有する者のうちから教育委員会が委嘱する。

(任期)

第 4 条 委員の任期は 2 年とする。ただし、再任を妨げない。

2 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第 5 条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長は、委員の互選により定める。

3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

4 副委員長は、委員のうちから委員長が指名する。

5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第 6 条 委員会の会議は、委員長が招集し、会議の議長となる。ただし、最初に行われる会議は、教育委員会教育長が招集する。

2 委員会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

- 3 委員会の会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 4 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を求めることができる。
- 5 委員会の会議は、公開できるものとする。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、教育委員会事務局教育総務課において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

附則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。